

令和4年度第4回袖ヶ浦市社会教育委員会議

1 開催日時 令和4年12月16日 午後3時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 北庁舎 2階会議室

3 出席委員

委員	北原 政志	委員	在原 潤
委員	松井 恭子	委員	稲垣 昭彦
委員	二宮 義文	委員	石井 ゆみ子
委員	田中 雪夫	委員	小泉 康
委員	畠山 真一	委員	佐々木 眞由美
委員	木村 育子	委員	中山 正紀

4 欠席委員

委員	葛田 圭亮	委員	岡田 康
委員	西田 隆司		

5 出席職員

教育長	御園 朋夫	中央図書館館長	藤尾 善之
生涯学習課長	高浦 正充	郷土博物館館長	西原 崇浩
スポーツ振興課長	鈴木 靖彦	生涯学習課副主幹	小川 修也
平岡公民館長	鹿嶋 章夫	生涯学習課社会教育班長	柳井 健

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

(1) 第38回生涯学習推進大会について

8 報告・連絡

(1) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について

(2) 令和4年度君津地方社会教育委員研修会の開催について

(3) 令和4年度君津地方社会教育推進大会の開催について

- (4) 各種事業の実施結果について
- ・令和4年度地域のつどい君津地区大会（ふれあいフェスティバル）
 - ・山野貝塚発掘調査現地説明会、学校音楽鑑賞事業、第35回袖ヶ浦美術展
 - ・令和4年度市民会館・公民館まつり
 - ・第25回ミュージアムフェスティバル
 - ・秋のトショロ月間
- (5) 今後の事業の実施予定について
- ・山野貝塚講演会
 - ・令和5年袖ヶ浦市二十歳を祝う会
 - ・新春マラソン大会
- (6) その他

9 その他

- (1) イオンモール木更津での房総かるた大会の開催について
- (2) 次回の開催日について

10 議事

議題（1）第38回生涯学習推進大会について

【資料1 ページから7 ページを説明】・・・事務局小川、柳井

田中委員長：事務局からの説明が終わりました。社会教育委員は全員参加ということですね。

事務局柳井：それをお願いしたい。

田中委員長：実行委員長である稲垣副委員長から何かあるか。

稲垣副委員長：感染対策に注意しながら成功させたいと思っている。皆様のご協力をお願いしたい。

事務局柳井：全員参加で報告してよろしいか。

（良いとの声あり）

田中委員長：では、全員参加としますので、皆さんよろしく申し上げます。他に質問はあるか。

小泉委員：今年の実践発表はどこを予定しているのか。

事務局小川：現在、公民館事務局との調整中である。決定しだいお知らせしたいと考えている。

報告・連絡（1）第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について

【資料8 ページから15 ページを説明】・・・事務局柳井

田中委員長：第2分科会に出席し、栃木県鹿沼市の方の実践報告を聞いたが、官民の協力により様々な行事を実施しているとのことだった。袖ヶ浦市も同じように協力して取り組んでいると感じているが、静岡県や長野県の方と話をしたところ、社会教育委員が色々なことを提言しても市が話を聞いてくれないとのことだった。袖ヶ浦市は、市と社会教育委員が相互に話し合えていると感じており、恵まれているなど感じた。その他、二宮委員は2日間行かれていると思うが、何かあればお願いしたい。

二宮委員：本大会は関東甲信越静ブロックの1都9県で構成されており、10年ごとに各都道府県持ち回りで開催される。平成28年に千葉県で開催しており、来年度は栃木県、2年後は茨城県で開催される予定である。県の会長として各市の事例に触れることがあるが、非常に参考になる。良い事例があれば取り入れても良いと思う。また、山梨県がまとめた社会教育委員の手引きが添付されているが、社会教育委員が何をしたら良いかが簡潔にまとめられている。千葉県でもこういったものを作成するかどうかを事務局と話をしているが、非常に参考になると思う。

報告・連絡（2）令和4年度君津地方社会教育委員研修会の開催について
【資料16ページから18ページを説明】・・・事務局柳井

田中委員長：出席できる委員はいるか。

佐々木副委員長：出席できる。

二宮委員：出席できる。

事務局柳井：本日欠席である岡田委員からも出席可能との回答を得ております。

二宮委員：君津市の職員で布施さんという方がいるが、公民館運営に関して非常にすばらしい動きをされている。公民館運営審議会の委員の方も、希望される方がいたらぜひ参加されてはどうかと思う。

事務局柳井：他にいないようですので、3名の方が出席することで報告させていただきます。

報告・連絡（3）令和4年度君津地方社会教育推進大会の開催について
【資料19ページを説明】・・・事務局柳井

田中委員長：私は出席するが、他に出席が可能な方はいるか。

二宮委員：出席できる。

事務局柳井：現状2名の参加で承知しました。

田中委員長：詳細がわかりしだい、各委員へ通知するのか。

事務局柳井：通知する。1月早々の送付を予定している。

報告・連絡（4）各種事業の実施結果について

【資料20ページから48ページを説明】

- ・令和4年度地域のつどい君津地区大会
（ふれあいフェスティバル）・・・事務局柳井
- ・山野貝塚発掘調査現地説明会、学校音楽鑑賞事業、
第35回袖ヶ浦美術展・・・・田中文化振興班長
- ・令和4年度市民会館・公民館まつり・・・鹿嶋平岡公民館長
- ・第25回ミュージアムフェスティバル・西原郷土博物館長
- ・秋のトショロ月間・・・・・・・・・・藤尾中央図書館長

田中委員長：質問がある方はいるか。

二宮委員：袖ヶ浦美術展についてPRしたい。社会教育委員の木村委員が出品されていた。絵画も書道もレベルが高い。市原市の方が見に来て、市民主体で開催されていることに驚いていた。ぜひ作品を見ていただきたい。

田中委員長：他に質問がある方はいるか。

二宮委員：アクアラインマラソンの報告はないのか。あれば我が平岡小学校の自慢話をしたい。

田中委員長：鈴木スポーツ振興課長、報告をお願いしたい。

鈴木スポーツ振興課長：ランナーの方たちから子ども達の応援が力になったという話を受けて、今年は奈良輪小学校、昭和小学校、根形小学校が大会当日に登校日にしてくださり、全校応援をしてくれた。また、今年はチームスピリットということで県内各市町村で6名エントリーして市町村対抗を行った。結果、袖ヶ浦市が優勝することができた。選手にあたっては、新春マラソンの上位者から選出した。来週、市の方で表彰される予定である。

二宮委員：北原委員、アクアラインマラソンについて、平岡小学校の教員のことと言うことがあるのでは。

北原委員：袖ヶ浦市内の小学校から5名の教員が出場し、全員完走した。

2年目の女性教員も初めて出場したが、他の先生よりも速くて驚かせていた。特別教員で渡邊勝則という職員がいるが、4年連続で箱根駅伝に出場した経歴があり、彼が一番速かった。よく頑張ったなと思う。

二宮委員：御園教育長の甥っ子さんも走っていた。頑張っていて凄いなど感じた。全員完走ということで感動した。

小泉委員：私もハーフマラソンで完走した。

二宮委員：素晴らしい。

報告・連絡（5）今後の事業の実施予定について

【資料49ページから53ページを説明】

- ・山野貝塚講演会・・・・・・・・・・田中文化振興班長
- ・令和5年袖ヶ浦市二十歳を祝う会・・・鹿嶋平岡公民館長
- ・新春マラソン大会・・・・・・・・・・鈴木スポーツ振興課長

畠山委員：今年の春の会議において、小泉委員より年齢別の種目について検討してほしいとの話があったが、まだ新型コロナウイルスが収まっていないため、今回は見合わせることにした。引き続き検討させていただきたい。

小泉委員：君津市には年齢別の種目がある。引き続き検討をお願いしたい。

報告・連絡（6）その他

地域のまちづくり施策推進に併せた公民館施設の活用方針について

【口頭で説明】・・・高浦生涯学習課長

稲垣副委員長：移管の話はいつ頃から出ていて、今後のスケジュールはどうなるのか。

高浦生涯学習課長：公民館のあり方については、以前より検討していた。令和元年の第9次地方分権一括法の施行により、社会教育法や地方教育行政の組織及び運営に関する法律等の改正を受け、もっと市民の方に施設を利用していただくため、今年度に入って庁内において検討してきた。

今後こういったやり方が良いのか、社会教育を衰退させることがないように、今後より多くの方に利用していただくために実施する予定である。目標としては、令和6年4月の移管を考えている。

稲垣副委員長：利用者を増やしたいから移管すると聞こえる。利用者を増やすために社会教育施設を変更するのか。

高浦生涯学習課長：まちづくりの拠点とすることを念頭に置いている。今年度、長浦地区でまちづくり協議会が設立されたが、今後、各地区でも設立の動きも出てくるものと想定されることから、公民館が各地区の拠点となることから検討を進めてきたものである。

稲垣副委員長：コミュニティセンターとは違うのか。

高浦生涯学習課長：名称は今後考えていく。

稲垣副委員長：公民館ではなくなるということか。

高浦生涯学習課長：公民館とコミュニティセンターの2枚看板になるかもしれない。

稲垣副委員長：施設が移管されると社会教育法が関係なくなり社会教育施設ではなくなるので、ただ単に一般市民が利用する施設としてどう活用するのかというように捉えてしまうことになるが、そういうことか。

高浦生涯学習課長：いまは、公民館条例は残したままでの移管を検討しており、社会教育は維持していく予定である。

稲垣副委員長：社会教育施設だから社会教育法が適用され、施設活用や講座の実施、育成指導というところにかかってくると思うが、社会教育法がかからない市長部局に移管された場合に、施設の活用がどのようにされるのか疑問がある。

高浦生涯学習課長：今後協議をしていく予定であり、本日は方向性をご説明させていただいた。

稲垣副委員長：移管は令和6年度からか、それとも令和5年度からか。

高浦生涯学習課長：令和6年度の予定である。

佐々木副委員長：あと1年ちょっとですね。

二宮委員：再来年度か。

御園教育長：その部分については、どういう形にするかはこれから具体的に話し合うが、いま公民館が実施している活動を維持していくことはしっかり確認している。その部分を押しえながら、まちづくり条例が出来たなかで地域を活性化していかなければならないという状況があり、その中で公民館を拠点として活用したいという思いがある。また、災害時においては、公民館職員を中心に教育委員会職員が避難所を開設するという流れになっているが、それを市長部局で一貫してやっていきたいという思いもある。具体的には、これから皆様に丁寧にお話したうえで進めたいと考えている。完全にコミュニティセンターとなっ

まえば設置根拠が社会教育法から地方自治法に変わるため、そこをどういう風にやっていくかは、これからの協議になってくる。

小泉委員：最初から質問しようと思っていたことがあって、今の社会教育の本市の課題は何かというところをスタートにして色々とお聞きしようと考えていたが、今の話を聞いている限り、年配者の今後の社会教育への参加と施設の活用が少なくなっていることが現状としてある。それをどう活性化するかが一番の課題だろうと思う。公民館を市長部局に移管すると、その課題を解決することが難しくなると感じた。社会教育を維持するとあるが、維持ではなくより発展させなければならない。維持だけでは先細りしてどんどんダメになっていってしまうため、その部分はきっちり押さえてやっていただきたいと思うが、もう方針は決定しているのか。

御園教育長：そういう方向となっている。

小泉委員：そういう方向もあるということではなくて、もうその方向になるということか。

御園教育長：方向的には、そうである。ただ、まだ今日は具体的にどうなるかは言えない段階である。皆様からご意見をいただいて、今後丁寧に話し合いをさせていただきたいと考えている。

二宮委員：3日前にいきいきサポートで、包括支援センターを民間に移管したという話があった。いきいきサポートは民生児童委員の有志が集まって運営しているものだが、詳細はわからないが、肝心の民生児童委員には知らされずに、市が手が回らなくなるためにみずほなどの民間に委託されたようである。公民館の移管についてはそういったことは無いと思うが、関係者間で知恵を出し合って良い答えを出せるような進め方が出来れば良いと思う。

稲垣副委員長：これは公民館運営審議会には諮問するのか。それとも意見調整だけか。

高浦生涯学習課長：公民館運営審議会等で説明していく。

小泉委員：私はまちづくり協議会の委員になっているが、公民館の市長部局への移管についての話は出ていない。なんでこのような話になっているのかわからない。

二宮委員：さっきの私の話と同じような感じですね。肝心なところが関わっていない。せっかく良い方向に持っていくのであれば、関係

者の知恵を出し合って良いものを作ってほしいと思うので、こんな意見があったということを担当部署の方に話していただきたい。

松井委員：次回、詳しい説明をしてくれるということだが、こう決まりましたという報告ではこの会議の意味がないので、決まる前に経過を教えてほしい。

小泉委員：実際はどこで決めるんですか。最終的には市議会で決定するのですか。

御園教育長：条例の関係もある。原案を作成し、これから1年かけて皆様と話し合いをさせていただこうと考えている。市としてこういう形で進めたいという思いは出したいと思う。その他、実際に公民館を活用されている方々や団体にも説明をさせていただきたいと考えている。

佐々木副委員長：公民館のことについては、数年前から運営方法の話が出ていたと思う。それぞれの立場の色々な意見があると思うが、骨子については行政で作っていただきたい。その後、利用者の意見を集めていただき、決定前に提示してもらって社会教育委員や公民館運営審議会などの各委員会の意見を集約して最終調整してみてもどうか。

小泉委員：骨子が出来たらその方向で進みますよ。だいたいそんなもんだと思います。あるいは利用者に説明したら、それで終わりですよ。

稲垣副委員長：市に移管する方向でこれから検討するということなので、移管はもう決まったということですね。それにはどういうことが問題で、どうしたら良いかを皆さんの方から意見を聞いてどうするのか、という風に受け取った。

二宮委員：今の岸田内閣の防衛予算の話みたいだと思った。中国やロシア、北朝鮮がいて、危ないから予算を倍増するというが、どうやって予算を確保するかで自民党内で揉めていますよね。

稲垣副委員長：議会開催中なので、たぶん今は言えない部分があるのかなと思った。

二宮委員：立場はわかりますけどね。

稲垣副委員長：次回ということなので、思いは伝えておいて、次回説明を受けるしかないですかね。

小泉委員：でも、利用者などに説明したら終わりですよ。

二宮委員：既成事実になってしまう。

- 小泉委員：いったん説明した内容は変えられないでしょう。根幹のところで話し合いができていくかという問題かと思う。
- 稲垣副委員長：以前、市民三学大学を有料化すべきかどうかの諮問を受けて答申したことがあり、その際は、有料化はしないほうが良いとの意見をまとめた。やはり組織からすると、論議を経て、社会教育委員としてはこういう意見だった。それを踏まえて、教育委員会ではこういう方針を立てたというところまで流れ着ければいいと思うが、残り1年という期間では間に合わないのかなと思う。
- 小泉委員：教育委員会も公民館の移管に賛成しているのか。
- 稲垣副委員長：その回答は難しいでしょう。
- 御園教育長：その部分については、先ほどお話したとおり、今まで皆様が作り上げてきた社会教育を軽く見ずに、より良く活動できるようにすることは確認しておりますので、その中でどうやってやっていこうかということをお話している。
- 稲垣副委員長：施設が変わろうが、市民としては生涯学習のなかの社会教育に変わりはない。施設があるから社会教育という訳ではない。どうやって市民の皆様に良い社会教育をしてもらいたいのかという気持ちは、我々は同じだと思う。施設があればこそその集いがあることなので、今後、皆さんと話し合いをしていくかと思う。
- 在原委員：公民館の利用が増えることは凄く良いことだと思う。そういう方たちが社会教育に触れる機会にもなるため、上手くプラスに繋がるように、我々としても意見を出し合いながら進めていきたいと思う。
- 二宮委員：結局は、何のためにやるのかということが大事である。それを抜かしてただ経費節減だとかをするとズレて揉めることになるので、本質をキチンと踏まえないといけない。
- 稲垣副委員長：市民協働のまちづくりの拠点づくりを各公民館の中にしていくということのようである。
- 二宮委員：まちづくりに関しては、それこそ公民館である。コミュニティセンターではない。
- 小泉委員：まちづくり協議会は、地域づくりの主体となってくる。そうなったときに、色んな講座を開催することに対して公民館職員のエネルギーが向くかどうか凄く心配である。
- 二宮委員：いわゆる貸館業だけになってしまうということですね。

- 小泉委員：そうである。私としては、もっとバラエティに富んだ講座をやってほしいと思っているが、移管されるとそれが遠ざかってしまいそうで心配である。
- 稲垣副委員長：今までは各公民館に社会教育主事を配置し、色々な講座の開催や育成指導を行ってきたが、最近では社会教育主事の配置も少なくなってきたおり、公民館に専門的な知識を持った職員が少なくなっていることは非常に残念なことだと思う。
- 小泉委員：教育の場である公民館が、移管によって行政の場になってしまう気がする。そこだけは非常に心配である。教育の場をキチンと確保してやってもらわないといけないと思う。
- 稲垣副委員長：そのあたりも、今後皆さんと1年をかけて話し合いをしていかなければいけない。
- 佐々木副委員長：そもそもだが、公民館を市長部局が所管するのと、教育委員会が所管するので何が違うのか。
- 御園教育長：完全に移管されれば教育委員会が関わることは無くなるが、教育委員会としては社会教育はしっかりやっけていこうとしている。皆様の意見を会議にのせていくことも考えているので、それをどうしていこうか検討をしている。
- 小泉委員：先行事例はあるのか。
- 高浦生涯学習課長：全国に事例はある。
- 小泉委員：その事例では、社会教育は活きているのか。
- 二宮委員：千葉市は指定管理者制度を導入しているが、千葉市の事例発表を聞いたところ、指定管理者制度を導入して良かったとの内容だったが、今まで市の職員が絡んでいる時がまるでダメだったかのように聞こえたため、この事例発表はおかしいのではないかと感じた。我々は社会教育に関わるものとして、そうならないようなスタンスをもってやらないといけない。
- 佐々木副委員長：木更津市の金田公民館は、建物が新しくなったときにコミュニティセンター化して市長部局になったと聞いているが、本市の移管はそことは違うのか。
- 高浦生涯学習課長：金田交流センターは指定管理者になっているが、当市では指定管理は考えていない。
- 事務局柳井：金田交流センターは、指定管理者の部分と市の職員がいる部分が一体化している。金田公民館が行っていた講座等は、市職員が引き続き実施していると聞いている。
- 二宮委員：それなら大丈夫だと思うが、そう簡単にうまく行くかどうか。

小泉委員：地域づくりということで、自治会関係者が公民館にたくさん入ってくると思う。そうなると、公民館職員はそちらに手を取られてしまうと思う。サークル等に場所を貸すことはできると思うが、講座をもったり企画をするなどについては、かなり制約がかかる、またはやれないという状況が出てくると思う。本当は、公民館にはもっと色々な講座をやってほしい。

二宮委員：この話は覆すことはできないと思うが、我々の意見をキチンと受けてやってもらわないといけない。

田中委員長：次回の会議ではまとまらないかもしれないが、我々の意見を受けてやっていただきたい。

小泉委員：移管とは別に1つお願いがありまして、今の話と逆行するかもしれないが、公民館のサークルの一覧表はあるが、講座の一覧表が市のホームページに無い。講座を開催した結果は掲載されるのに、年間をとおした開催予定が掲載されていない。例えば、来年退職予定の方が何かやろうかなと思ったときに参考になるよう、講座が一覧でわかるものを作成してほしい。

その他（1）イオンモール木更津での房総かるた大会の開催について

【口頭で説明】・・・田中委員長が説明

田中委員長：イオンモール木更津において房総かるた大会を開催することとなり、先日連絡が来た。開催日は1月9日である。4市から子ども達が集まるため、お時間がある方はぜひお立ち寄りいただきたい。

その他（2）次回の開催日について

【口頭で説明】・・・事務局柳井

事務局柳井：次回の開催日は、令和5年2月3日である。事前に開催通知を送付するが、予定しておいていただきたい。

午後4時50分閉会

令和4年度第4回

社会教育委員会議 資料

日 時 令和4年12月16日(金)

午後3時～午後4時30分

場 所 袖ヶ浦市役所 北庁舎2階会議室

目 次

次第4 議 題

- (1) 第38回生涯学習推進大会について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～P 7

次第5 報 告 ・ 連 絡

- (1) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について・ P 8～P 15
- (2) 令和4年度君津地方社会教育委員研修会の開催について・・ P 16～P 18
- (3) 令和4年度君津地方社会教育推進大会について・・・・・・・・ P 19
- (4) 各種事業の実施結果について
- ・ 令和4年度地域のつどい君津地区大会
(ふれあいフェスティバル)・・・・ P 20～P 21
 - ・ 山野貝塚発掘調査現地説明会、学校音楽鑑賞事業、
第35回袖ヶ浦美術展・・・・ P 22～P 23
 - ・ 令和4年度市民会館・公民館まつり・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24～P 41
 - ・ 第25回ミュージアムフェスティバル・・・・・・・・・・・・ P 42
 - ・ 秋のトショロ月間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 43～P 48
- (5) 今後の事業の実施予定について
- ・ 山野貝塚講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 49～P 50
 - ・ 令和5年袖ヶ浦市二十歳を祝う会・・・・・・・・・・・・ P 51
 - ・ 新春マラソン大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 52～P 53

議題(1)第38回袖ヶ浦市生涯学習推進大会について

第 38 回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会 実行委員名簿

No.	選出 区分	実行委員 (◎実行委員長 ○副実行委員長)	
		所 属 団 体	名 前(敬称略)
1	社会 教育 関係 団体 の 代 表	袖ヶ浦市PTA連絡協議会	早川 智
2		袖ヶ浦市スポーツ協会	畠山 真一
3		袖ヶ浦市文化協会	高橋 佳代子
4		袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会	友田 賢司
5		袖ヶ浦市ボーイスカウト育成会	若狭 めぐみ
6		ガールスカウト千葉県第87団育成会	笈川 真由美
7		袖ヶ浦市レクリエーション協会	小藤田 正義
8		袖ヶ浦市少年野球連盟	境屋 邦夫
9		袖ヶ浦市サッカー協会	清藤 一栄
10		袖ヶ浦市ターゲットボードゴルフ協会	中山 敏男
11		袖ヶ浦市音楽協会	○ 早川 敦
12	学 校 教 育 関 係 者	千葉県立袖ヶ浦高等学校	山崎 允且
13		袖ヶ浦市小中学校長会	井関 徹太郎
14		葦波台さつき幼稚園	栗原 正志
15	学 識 経 験 者	袖ヶ浦市社会教育委員	◎ 稲垣 昭彦
16		袖ヶ浦市公民館運営審議会	福原 孝彦
17		袖ヶ浦市郷土博物館協議会	岩崎 照代
18		袖ヶ浦市立図書館協議会	小林 君代
19		袖ヶ浦市スポーツ推進委員協議会	松崎 好彦
20		袖ヶ浦市青少年相談員連絡協議会	葛田 圭亮
21		袖ヶ浦市社会福祉協議会	山田 明美
22	自治連 関係者	袖ヶ浦市自治連絡協議会	多田 幸夫

第38回袖ヶ浦市生涯学習推進大会 要項

1. 趣旨

少子高齢化・都市化・情報化が進み、地域や人どうしの結びつきが希薄になりつつある昨今、以前のように他者と深く関わりながら生きていくことは、より困難になりつつあります。

流動化と孤立化に代表される社会変化の中では個人のニーズが重視される反面、つながり関わる中で生まれる“絆”は、人生をより豊かで生きがいのあるものに変えていく力を持っています。

袖ヶ浦市では、市内にある社会教育関係機関、団体、そして個人が緊密につながりあい、支えあいながら幅広く学習機会を提供しあうことで、人々が、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に活かされるような地域社会を目指しています。

このような中、生涯を通して学習することの意義について市民の理解を一層深めるとともに、学習意欲の向上と学習活動への参加の促進を図ります。

2. 大会テーマ

「学び つながり 支えあうまち そでがうら」

3. 主催 袖ヶ浦市社会教育委員 袖ヶ浦市教育委員会

4. 主管 袖ヶ浦市生涯学習推進大会実行委員会

5. 期日 令和5年2月11日（土・祝）

6. 会場 袖ヶ浦市民会館 大ホール

7. 日程 12:30 ~ 13:00 受付

13:00 ~ 14:10 【第1部】

- (1) 開会のことば（袖ヶ浦市社会教育委員長）
- (2) 生涯学習奨励賞授与・市長あいさつ
- (3) 社会教育功労感謝状贈呈・教育長あいさつ
- (4) 来賓祝辞（県議会議員・市議会議長）
- (5) 実践発表

～休憩・換気～

14:30 ~ 16:00 【第2部】

(6) 記念講演

（第41期・第2回市民三学大学講座）

演題：「徳川家康から学ぶ人生のヒント～待つことを知る者は勝つ～」

講師：河合 敦 氏（歴史作家）

(7) 閉会のことば（袖ヶ浦市生涯学習推進大会実行委員長）

第38回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会タイムスケジュール

進行2名（男女各1名 実行委員より選出）

【第1部】 予定時間 13:00～14:10（70分間）

1. 開会のことば（2分） 社会教育委員 委員長
2. 生涯学習特別奨励賞&奨励賞授与（25分） → 市長挨拶（4分）
 - ・授与 授与者：市長
（特別奨励賞→賞状・盾、奨励賞→賞状・メダルを贈呈）
 - ※介添え：副市長、生涯学習課長
 - ※受賞者紹介：進行
 - ・市長あいさつ
3. 社会教育功労感謝状贈呈（10分） → 教育長挨拶（4分）
 - ・贈呈 贈呈者：教育長
（賞状を贈呈）
 - ※介添え：教育部長
 - ※受賞者紹介：進行
 - ・教育長あいさつ
4. 来賓祝辞（10分）
 - ・県議会議員
 - ・市議会議員
5. 実践発表（15分）

〔休憩・換気〕 14:10～14:30

【第2部】 予定時間 14:30～16:00（90分間）

6. 記念講演（市民三学大学講座）

講師：歴史作家 河合 敦 氏

演題：「徳川家康から学ぶ人生のヒント～待つことを知る者は勝つ～」

7. 閉会のことば（2分） 生涯学習推進大会実行委員長

第38回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会来賓・登壇等予定者

	NO	役職名	氏名	依頼事項	参加予定
来賓	1	千葉県議会議員	江野澤 吉克	登壇 来賓祝辞	
	2	袖ヶ浦市議会議員	榎本 雅司	登壇 来賓祝辞	
	3	袖ヶ浦市議会 文教福祉常任委員長	緒方 妙子	登壇	
	4	千葉県教育庁 南房総教育事務所長	内田 美之	登壇	
主催者側登壇等	5	袖ヶ浦市長	粕谷 智浩	登壇 奨励賞挨拶	
	6	袖ヶ浦副市長	花澤 一男	登壇	
	7	袖ヶ浦市教育長	御園 朋夫	登壇 感謝状挨拶	
	8	袖ヶ浦市教育委員会 教育委員	多田 正行	登壇	
	9	袖ヶ浦市教育委員会 教育委員	中村 伸子	登壇	
	10	袖ヶ浦市教育委員会 教育委員	高野 隆晃	登壇	
	11	袖ヶ浦市教育委員会 教育委員	若林 洋子	登壇	

主催者側（ステージ向かって左に登壇）		来賓側（ステージ向かって右に登壇）	
1	市長		県議会議員
2	副市長		市議会議員
3	社会教育委員長		南房総教育事務所長
4	教育長		文教福祉常任委員長
5	教育長職務代理者		
6	教育委員		
7	教育委員		
8	教育委員		
9	実行委員長		
10	副実行委員長		
11	教育部長		
12	教育部次長		

袖ヶ浦市生涯学習推進大会 案内依頼先

		①依頼文書の所属	②役職	③依頼文書の宛名
1	社会教育関係団体の代表	袖ヶ浦市PTA連絡協議会	会長	葛田 圭亮
2		袖ヶ浦市立昭和小学校PTA	会長	床井 章吾
3		袖ヶ浦市立奈良輪小学校PTA	会長	伊藤 裕一
4		袖ヶ浦市立長浦小学校PTA	会長	猪狩 寛城
5		袖ヶ浦市立蔵波小学校PTA	会長	片山 英昭
6		袖ヶ浦市立根形小学校PTA	会長	尾坂 正則
7		袖ヶ浦市立中川小学校PTA	会長	伊藤 寛人
8		袖ヶ浦市立平岡小学校PTA	会長	江澤 将範
9		袖ヶ浦市立昭和中学校PTA	会長	早川 智
10		袖ヶ浦市立蔵波中学校PTA	会長	鳩飼 猛
11		袖ヶ浦市立根形中学校PTA	会長	花澤 辰則
12		袖ヶ浦市立平川中学校PTA	会長	伊藤 哲也
13		袖ヶ浦市立長浦中学校PTA	会長	佐藤 智則
14		袖ヶ浦市スポーツ協会	会長	稲毛 博夫
15		袖ヶ浦市文化協会	会長	稲垣 昭彦
16		袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会	会長	田中 雪夫
17		袖ヶ浦市ボーイスカウト育成会	会長	出口 清
18		ガールスカウト千葉県第87団育成会	会長	武藤 光夫
19		袖ヶ浦市レクリエーション協会	会長	伊藤 和雄
20		袖ヶ浦市少年野球連盟	会長	大友 省三
21		袖ヶ浦市サッカー協会	会長	林 一賀
22		袖ヶ浦市音楽協会	会長	早川 敦
23		袖ヶ浦市ターゲット・バードゴルフ協会	会長	石渡 真
24	学校教育機関	千葉県立袖ヶ浦高等学校	学校長	佐藤 啓之
25		袖ヶ浦市立昭和小学校	学校長	弘中 邦典
26		袖ヶ浦市立奈良輪小学校	学校長	小泉 憲治
27		袖ヶ浦市立長浦小学校	学校長	平川 真
28		袖ヶ浦市立蔵波小学校	学校長	瀧澤 真
29		袖ヶ浦市立根形小学校	学校長	榎本 正信
30		袖ヶ浦市立中川小学校	学校長	粕谷 久恵
31		袖ヶ浦市立平岡小学校	学校長	北原 政志
32		袖ヶ浦市立昭和中学校	学校長	林 健司
33		袖ヶ浦市立長浦中学校	学校長	庄司 光利
34		袖ヶ浦市立根形中学校	学校長	井関 徹太郎
35		袖ヶ浦市立平川中学校	学校長	宮野 達也
36		袖ヶ浦市立蔵波中学校	学校長	鈴木 大介
37	諮問機関	袖ヶ浦市社会教育委員	委員長	田中 雪夫
38		袖ヶ浦市公民館運営審議会	委員長	齋藤 隆彦
39		袖ヶ浦市郷土博物館協議会	委員長	伊藤 誠
40		袖ヶ浦市立図書館協議会	委員長	吉村 真理子
41		袖ヶ浦市スポーツ推進委員協議会	会長	鈴木 和義
42	協力員	各館(市民会館、公民館4、図書館)		社会教育関係機関の長
43		袖ヶ浦市郷土博物館	館長	西原 崇浩
44		袖ヶ浦市国際交流協会	会長	伊藤 誠
45		袖ヶ浦市青少年相談員連絡協議会	会長	江澤 将範
46		袖ヶ浦市シニアクラブ連合会	会長	高石 静江
47		袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会	会長	土屋 則子
48		各機関	市民会館	館長
49	平川公民館		館長	中畑 浩治
50	長浦公民館		館長	塩谷 利之
51	根形公民館		館長	大田 知司
52	平岡公民館		館長	鹿嶋 章夫
53	中央図書館		館長	藤尾 善之
54	袖ヶ浦市自治連絡協議会		会長	吉岡 真史
55	蔵波台さつき幼稚園			保護者会長
56	袖ヶ浦桜ヶ丘幼稚園			保護者会長
57	袖ヶ浦市立中川幼稚園		保護者会長	



袖ヶ浦市 第2256号
令和4年12月1日

袖ヶ浦市社会教育委員
委員長 田中 雪夫 様

袖ヶ浦市社会教育委員
委員長 田中 雪夫



袖ヶ浦市教育委員会
教育長 御園 朋夫

第38回 袖ヶ浦市生涯学習推進大会の参加について（依頼）
寒冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のことと推察いたします。また、日頃より本市生涯学習の推進につきましてご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、このたび第38回生涯学習推進大会を別紙のとおり開催することになりました。
つきましては、ご多用の折り誠に恐縮に存じますが貴団体の皆様のご参加をお願い申し上げます。
なお、参加者名簿（別紙）を作成し下記のとおりご提出下さいますよう併せてお願いいたします。

記

- 1 参加依頼人数 委員より15名
- 2 参加者名簿提出先 袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課（担当 小川）
及び問い合わせ先 （住 所）袖ヶ浦市坂戸市場1-1
（電 話）62-3743 直通ダイヤル
（FAX）63-9680
- 3 参加者名簿提出締切日 **令和5年1月20日(金)**
- 4 受付について 当日、参加される方々は以下の場所で受付を行います。

（①～⑦で受付人数が大きく異なることのないように割り振らせて頂きました。）

標記	所属団体
①体育	スポーツ協会、少年野球連盟、サッカー協会、ターゲットバードゴルフ協会、レクリエーション協会
②文化	文化協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、音楽協会、博物館友の会、市民学芸員、袖ヶ浦市国際交流協会
③学校	PTA連絡協議会、幼稚園保護者会、袖ヶ浦高等学校、市内小中学校
④地区	自治連絡協議会、袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員
⑤協議会 連合	シニアクラブ連合会、ボランティア連絡協議会、文化財審議会、公民館運営審議会、博物館協議会、図書館協議会、スポーツ推進委員協議会
⑥社教委	社会教育委員、社会教育推進員
⑦サークル 団体	市民会館、平川公民館、長浦公民館、根形公民館、平岡公民館、図書館の各所属サークル及び団体

※来賓、感謝状・奨励賞受賞者、実践発表団体の受付は別になります。

第38回 生涯学習推進大会参加者名簿（1月20日提出締め切り）
所属名 []

1部13時～ 2部14:30～

NO	氏名	住所	連絡先	参加
例	袖ヶ浦 太郎	坂戸市場1-1	62-2111	1部・2部・全部
1				1部・2部・全部
2				1部・2部・全部
3				1部・2部・全部
4				1部・2部・全部
5				1部・2部・全部
6				1部・2部・全部
7				1部・2部・全部
8				1部・2部・全部
9				1部・2部・全部
10				1部・2部・全部
11				1部・2部・全部
12				1部・2部・全部
14				1部・2部・全部
15				1部・2部・全部
16				1部・2部・全部
17				1部・2部・全部
18				1部・2部・全部
19				1部・2部・全部
20				1部・2部・全部

ご提出ありがとうございました。

FAX可0438-63-9680

2022



第53回 関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会
令和4年度 山梨県社会教育研究大会

令和4年

11月10日(木)

11日(金)



全体会 甲府市総合市民会館
分科会 山梨県立図書館・山梨県防災新館
ベルクラシック甲府・古名屋ホテル

大会開催要項

大会スローガン

「人を結ぶ これからの社会教育
～ 語ろう 甲斐の国やまなしで～」

研究主題

「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える
～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～」

社会的包摂とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人一人、排除や摩擦・孤立から援護し、社会の一員として取り組み、支え合う考え方。社会的排除の反対の概念。

開催趣旨

甲斐の武将武田信玄を私たち山梨県民は敬意を込めて「信玄公」と呼びます。信玄公は「人は石垣、人は城、情けは味方、仇は敵なり」という有名な言葉を残し、今も「武田節」の一節として歌い継がれています。

社会教育推進の基本方針は、ウイズコロナの時代にあっても、社会教育の原点である「人づくり、つながりづくり、地域づくり」であり、まさに信玄公と想いを一にするものといえます。昨今の「想定外」と言われる各地の大災害は、人と人、人と地域のつながりの重要性を再認識させてくれるものとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により地域社会の先行きが不安視される今だからこそ、持続可能な開発目標(SDGs)の視点も大切にしながら、「誰一人取り残さない」包摂的な社会づくりを推進していくことが社会教育の果たすべき役割と考えます。

この2日間、ここに社会教育関係者がよっちゃばって(一堂に集い)、これからの社会教育についての語り合いが皆様のかげがえのない財産となり、活力ある地域社会づくりの礎となることを期待しています。山梨によっちゃばって話をするじゃんけ(集い、大いに語りあいましょう)。

期 日

令和4年11月10日(木)～11日(金)

会 場

【1日目】	全 体 会	甲府市総合市民会館(山の都アリーナ) 〒400-0867 山梨県甲府市青沼3-5-44
【2日目】	第1分科会	山梨県立図書館(1Fイベントスペース) 〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1
	第2分科会	古名屋ホテル(2Fバンヤンツリー) 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-7-15
	第3分科会	山梨県立図書館(2F多目的ホール) 〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1
	第4分科会	山梨県防災新館(1Fオープンスクエア) 〒400-8504 山梨県甲府市丸の内1-6-1
	第5分科会	ベルクラシック甲府(2Fヴィクトリア) 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-1-17

参加者

関東甲信越静各都県・政令指定都市・区市町村の社会教育委員・社会教育担当職員
及び社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関心のある方

主催・共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会実行委員会
山梨県社会教育委員連絡協議会、山梨県教育委員会、甲府市教育委員会

後 援

山梨県、甲府市、山梨県市長会、山梨県町村会、山梨県公民館連絡協議会
山梨県社会教育振興会 等

大会日程・内容

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
第1日目 11月10日(木) 【全体会】				受付	アトラクション	開会行事	記念公演		シンポジウム	閉会行事	分科会打合せ (関係者)
第2日目 11月11日(金) 【分科会】				受付	(分科会ごと閉会)						

大会内容

【11月10日(木)】全体会 受付11:30~12:15

総司会 山梨県社会教育委員の会議 議長 窪田包久

1 歓迎アトラクション 12:15~12:35

甲府市立甲府商業高等学校 ソングリーダー部

2 開会行事 12:40~13:25

開会の言葉 大会副実行委員長 加藤重義

主催者あいさつ 大会実行委員長 塩島明美

一般社団法人全国社会教育委員連合会長 鈴木眞理

山梨県教育委員会教育長 手島俊樹

祝辞 山梨県知事 長崎幸太郎

歓迎のことば 甲府市長 樋口雄一

3 記念講演 13:30~14:50

演題 「夢の実現～努力は裏切らない!～」

講師 元ソフトボール女子日本代表監督 宇津木妙子

- 4 シンポジウム 15:00～16:50
 テーマ 「新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える
 ～社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割～」

◇コーディネーター◇

放送大学教授・山梨大学名誉教授 進藤 聡彦

◇シンポジスト◇

山梨県立大学名誉教授・山梨県看護協会会長 佐藤 悦子
 認定特定非営利活動法人スペースふう事務局長 長池 伸子
 特定非営利活動法人かえる舎代表理事 斎藤 和真

- 5 閉会行事 16:50～17:00
 次期開催県あいさつ 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会副会長
 栃木県社会教育委員協議会会長 斎藤 陽子
 閉会の言葉 大会副実行委員長 山本 睦

【11月11日(金)】分科会 受付 9:10～9:30

- 6 分科会 9:30～12:00
 第1分科会 山梨県立図書館(1F イベントスペース)
 第2分科会 古名屋ホテル(2F バンヤンツリー)
 第3分科会 山梨県立図書館(2F 多目的ホール)
 第4分科会 山梨県防災新館(1F オープンスクエア)
 第5分科会 ベルクラシック甲府(2F ヴィクトリア)

分科会名	「テーマ」～サブテーマ～
第1分科会「ひとづくり」	「学校・家庭・地域の連携協働のあり方」 ～地域全体で子どもを育てるために～
第2分科会「つながりづくり」	「つながりを基盤としたこれからの社会教育」 ～持続可能な「つながり」づくり～
第3分科会「地域づくり」	「魅力ある地域づくりの実現」 ～地域ネットワークを生かして～
第4分科会「生涯学習」	「人生100年時代の学びのあり方」 ～豊かな人生をおくるための生涯学習のすすめ～
第5分科会「社会的包摂」	「包摂的社会的実現に向けた社会教育のあり方」 ～多様な人々がかかわり合う社会づくり～

分科会別構成一覽

	テーマ・サブテーマ・助言者	発表者・タイトル・概要	話題提供 (山梨県教育庁生涯学習課)
第1分科会	<p>ひとつくり 「学校・家庭・地域の連携協働のあり方」 ～地域全体で子どもを育てるために～</p> <p><助言者> 山梨県立大学人間福祉学部 准教授 太田 研 氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆群馬県 井上 美智子氏(館林市社会教育委員会 副議長) 「放課後子ども教室の開設に向けて ～地域学校協働活動への社会教育委員としての取組～」</p> <p>◇放課後子ども教室の新規開設に向けて、社会教育委員として関わる中で見えてきた課題や今後どのような事業であるべきかについて協議を重ね、地域の子どもたちや大人にとって互いに良い学びの機会となった取り組みを紹介します。</p>	<p>○ほっと!ネットセミナー ○青少年の非行・被害防止 推進会議 ○県少年サポートネット推 進事業</p> <p>青少年保護育成担当 鳥口 英俊</p>
第2分科会	<p>つながりづくり 「つながりを基盤としたこれからの社会教育」 ～持続可能な「つながり」づくり～</p> <p><助言者> 身延山大学仏教学部 教授 伊東 久実 氏 (キャンパスネットやまなし企画運 営会議委員)</p>	<p>◆栃木県 小太刀見代子氏(鹿沼市社会教育委員の会) 「家庭教育でつながりづくり ～持続可能な組織づくり～」</p> <p>◇放課後子ども教室の新規開設に向けて、社会教育委員として関わる中で見えてきた課題や今後どのような事業であるべきかについて協議を重ね、地域の子どもたちや大人にとって互いに良い学びの機会となった取り組みを紹介します。</p>	<p>○幼児教育番組「子育て日 記」 ○やまなし読書活動促進 事業</p> <p>成人・家庭教育担当 辻 由樹</p>
第3分科会	<p>地域づくり 「魅力ある地域づくりの実現」 ～地域ネットワークを生かして～</p> <p><助言者> 身延山大学客員教授 望月 厚志 氏</p>	<p>◆茨城県 鈴木 清進 氏(結城市社会教育委員会 副議長) 「結城市社会教育委員自主研修会の取組」</p> <p>◇市内小学生から「歩いて行ける図書館がほしい」という要望が多くありました。そこで、地域の課題として、社会教育委員による、ゆうき図書館事業「としょかんたんけんツアー」への関わりと自主研修会の取組について紹介します。</p>	<p>○フロンティアアドベンチャー 「やまなし少年海洋道中」 ○やまなし若者まちづくり チャレンジ協働事業</p> <p>青少年教育担当 前島 光一郎 川井 さや加</p>
第4分科会	<p>生涯学習 「人生100年時代の学びのあり方」 ～豊かな人生をおくるための生涯 学習のすすめ～</p> <p><助言者> 山梨県社会教育振興会 山梨県ユネスコ協会会長 会長 山田 勝彦 氏</p>	<p>◆埼玉県 桑原 静 氏 (さいたま市社会教育委員・合同会社ババラボ代表) 「できないことは増えるけど、できることがある 長生き時代における場づくり」</p> <p>◇年を重ねても働いたり、学んだり、多世代で交流できる場「BABAlabさいたま工房」の実践例や、テクノロジーを利用したシニアの学習の場の創出について紹介します。</p>	<p>○山梨県生涯学習推進セ ンター ○山梨こどもきこえ学院 ○キャンパスネットやまなし ○やまなしまなびネット</p> <p>生涯学習・社会教育担当 奥山 寿夫</p>
第5分科会	<p>社会的包摂 「包摂的社会的実現に向けた社会 教育のあり方」 ～多様な人々がかかわり合う社会 づくり～</p> <p><助言者> 都留文科大学教養学部 准教授 冨永 貴公 氏 (山梨県社会教育委員)</p>	<p>◆山梨県 山本 睦 氏 (甲州市社会教育委員の会 議長) 「高校生の目を通して地域を考えよう ～高校生と大人の本音の語り合い～」</p> <p>◇地元の高校生が地域に対して感じていることを基にテーマを設定し、調査・研究を行い、社会教育委員と意見交換を重ねながら、これからの地域や自分たちの生活について考えを深めていった取り組みを紹介します。</p>	<p>○山梨県社会教育委員の 会議 ～提言書～</p> <p>生涯学習・社会教育担当 伊藤 宏紀</p>

山梨県社会教育委員の会議では、本県の社会教育の課題をもとに協議事項を設定し、2年間にわたり協議を重ねてきました。

<協議事項>

新たな「つながり」で可能性が広がる新しい時代の社会教育のあり方
～多様な主体との連携・協働による地域ネットワークを生かして～

本会議では、地域社会の活性化や誰一人取り残さない包摂的社会の実現には、持続可能な多様な「つながり」が重要であるとの認識から協議を重ね、本県の社会教育が目指すべき方向性や方策を提言としてまとめました。

つながりの現状と重要性



多様なつながり……対面でのつながりを大切にしつつ、ICTの可能性を主体的に意味づけ直していく必要性があります。

連携・協働の実態……コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に展開することで、地域で社会教育を考える仕組みになります。

地域の担い手不足……活動のメリット、団体・組織の重要性を周知するとともに、世代間交流を意識的に取り込む必要があります。

包摂的社会的実現……SDGsの思いを共有し、社会教育活動こそが、私たちの尊厳を守り合う社会を実現させると再認識する必要があります。

<提言1>

多様な団体や組織、地域住民等によるネットワーク（プラットフォームフォーム）の構築について



みんながながる場や機会、ネット上のサイトなど、プラットフォームの構築と活用がポイントですね。

事例1 山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

提言書P12



プラスチックごみ削減の活動を推進するためのプラットフォーム

通称Yama・Pは、海がない内陸の山梨県から、山や川のごみが海に流出する影響を考え、深刻な地球規模の海ごみ、特にマイクロプラスチックの問題に取り組みネットワーク組織です。多様なステークホルダー及び行政との協働によって、プラスチックごみを削減し、持続可能な地域コミュニティづくりを目指しています。

事例2 やまなしまなびネット

提言書P13



やまなしまなびネットは、ICTを活用した生涯学習プラットフォームとして、山梨県が運営するシステムです。主には、①学習情報や学習機会の提供、②学習・活動履歴の記録や証明、③学習者同士や講師とつなぐネットワーク化といった機能を果たしています。

- 学習情報提供機能
- 学習情報検索機能
- コミュニケーション機能
- 学習相談機能
- 人材の情報の検索・提供機能

教育行政の役割	社会教育委員、社会教育士の役割	社会教育関係団体の役割	学校教育の役割
教育行政には、いつでも学習の機会を保障し、その成果を適切に評価する社会づくりが求められています。	社会教育委員や社会教育士が役割を果たすための確認が必要です。さらに、学びを社会教育士の活躍も期待されます。	これまで果たしてきた役割と意義を整理し、領域や分野を超えたつながりを新たに作り出す必要があります。	学校は、地域とのつながりが一層求められ、社会教育関係団体・施設と連携しながら地域をどのように支えていくのかを考える必要があります。
NPO・企業の役割	公民館・社会教育施設の役割	大学の役割	地域住民・自治会の役割
NPOや民間企業のもっとも大きな教育力を十分に生かし切れていないため、NPO等と連携する仕組み作りが求められています。	全国的に減少傾向にあり、改めてその役割を検討するとともに、新たな居場所について考えることも学びにつながります。	大学は知を集積し、さらに地域に開く役割があります。また、地域問題を解決する人材を養成することも必要です。	地域づくりの主役はまさに地域の住民です。また、多様な価値観や世代の声が響く自治会のあり方が求められています。

< 提言 2 >

個別の活動をネットワークでつなぐコーディネートターの育成と活用について



組織や活動をつなぐ連携・協働のポイントは、なんと
と言ってもコーディネートターですね。

事例 1 NPO法人かえる舎による地域のコーディネートター

提言書 P 1 6

かえる舎は、2017年に富士吉田市を拠点に設立されました。高校生を中心に小学生から大学生までを対象とした地域プログラムの開発や地域と学校の橋渡しをするコーディネートター業務に取り組んでいます。地域の未来を思い、考え、行動する若者で溢れる地域づくりを目指しています。 **自分をかえる 地域をかえる 舎**



事例 2 山梨県立大学の地方創生人材教育プログラム

提言書 P 1 7

山梨県立大学を中心に、山梨大学、山梨英和大学、事業協働機関が協力して提供する、**学生と社会人の垣根を超えた VUCA時代の実践的教育プログラム**

山梨県立大学は、「グローバルな知の拠点」「未来の実践的担い手の育成」「地域に開かれ地域と向き合う大学」を理念に設立されました。県や企業、関係団体と協働し、県内の地域課題に対して、変革的に解決にあたることのできる中核人材を育成することを目指しています。



< 提言 3 >

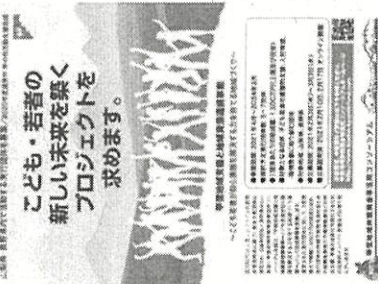
持続可能な活動を保障する財政確保について



公的資金だけでなく、民間も含めた様々な資金調達の方法が考えられますよ。

事例 1 認定NPO法人富士山クラブによる休眠預金等の資金分配

提言書 P 2 0



◆休眠預金等活用法◆
2009年1月1日以降、10年以上、取引のない預金等を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度

民間公益活動を促進する休眠預金等活用法のもと、認定NPO法人富士山クラブが（公財）長野県みらい基金と甲信地域休眠預金等活用コンソーシアムを結成し、山梨県初の資金分配団体として、地域の課題解決に取り組むNPOなどの民間団体（実行団体）の活動を支援しています。

事例 2 子どもゆめ基金の活用による健全育成活動の振興

提言書 P 2 1



子どもゆめ基金は、未来を担う子どもたちの健全な育成を図ることを目的に、民間団体が実施する活動を支援するために設けられた助成制度です。政府の予算措置と民間からの寄付金を独立行政法人 国立青少年教育振興機構が基金として保有し、助成を行っています。

◆採択状況◆
2022年度(申請件数3,561件、採択2,774件 採択率約78%)
◆助成対象◆
体験活動、読書活動、教材・普及活動

報告・連絡（２）令和４年度君津地方社会教育委員研修会の開催について

君社教連第13号
令和4年11月30日

君津地方社会教育委員各位

君津地方社会教育委員連絡協議会
会長 高橋 栄二

令和4年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会の実施について（通知）

向寒の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より本協議会活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、今の時代に必要な社会教育のあり方について考えを深める機会として、別添の開催要項のとおり研修会を開催いたします。
つきましてはご多用のこととは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 日 令和4年12月23日（金）午前9時30分から12時まで
- 2 会 場 君津市周西公民館 会議室1・2
君津市人見4丁目11-21 TEL: 0439 (57) 6080
- 3 テーマ 「ウィズコロナ・ポストコロナの社会教育を考える～見えないウイルスから見てきたこと」
- 4 講 師 木下 巨一 氏（松本大学総合経営学部 非常勤講師、元長野県生涯学習推進センター所長、元飯田市公民館職員）
- 5 参加者 袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市社会教育委員及び関係職員
- 6 その他 出欠の連絡につきまして、12月16日（金）までに、各市担当者までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

研修担当：君津市生涯学習文化課
担 当：柴田
TEL：0439（29）7814
事務局：富津市生涯学習課
担 当：伊藤
TEL：0439（80）1345

令和4年度君津地方社会教育委員研修会開催要項

1 趣 旨

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人と人との交流やつながりを軸にする社会教育の諸活動は深刻な影響を受けた。

社会のあらゆる場所でデジタル活用が急激に進められ、社会教育分野においてもデジタル活用によるオンライン型事業などの展開が各地で進められている。

デジタル技術、オンライン活用によって、これまで手が届かなかった対象などへのアプローチの可能性の広がりなどがある一方、サークルの減退や消滅、地域活動の衰退など、地域の人とのつながりあいや関わり合いの変質といった課題も浮上している。

このように、コロナ禍によって「学びの機会」が大きく揺さぶられる状況を経験したからこそ、「社会教育が誰に向けたどのような学びを、どのような方法で展開するのか」について、しっかりと向き合い、様々な困難を乗り越えていくための社会教育の在り方について展望を見出していくことが、私たち社会教育委員や職員に求められているのではなかろうか。

そこで、本研修では、君津市の社会教育実践を例に、コロナ禍の3年間を通して見えてきたことを話題提起し、ともに今の時代に必要な社会教育のあり方について考えを深める機会としたい。

2 テーマ 「ウィズコロナ・ポストコロナの社会教育を考える～見えないウイルスから見えてきたこと」

3 日 時 令和4年12月23日（金）午前9時30分から12時まで

4 会 場 君津市周西公民館 会議室1・2
（住所：君津市人見4丁目11-21 TEL：0439（57）6080）

5 講 師 きのした のりかず 木下 巨一 氏（松本大学総合経営学部 非常勤講師、元長野県生涯学習推進センター所長、元飯田市公民館職員）

6 主 催 君津地方社会教育委員連絡協議会

7 参加者 袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市社会教育委員及び関係職員

8 日程

時間	項目	内容など
10分	開会行事	主催者あいさつ、趣旨・日程説明等
20分	【話題提供①】 コロナ禍、3年間の社会教育実践～ 県内新型コロナ調査及び君津市公民館の実践報告～	報告：柴田（君津市生涯学習文化課） ・君津の社会教育が目指してきたもの ・県内新型コロナ調査結果及び君津市公民館の実践報告 など
20分	【話題提供②】 コロナ禍の公民館運営を通じた社会教育の自己点検	報告：布施（君津市生涯学習文化課） ・コロナ禍における社会教育の現状・課題など、公民館を事例にした課題提起。
5分	【質疑応答】	・話題提供①、②についての質疑を行う。
5分	休憩・換気	
40分	【グループディスカッション】 「ウィズコロナ・ポストコロナの社会教育を考える」	・参加者4～6名でグループをつくる ・ポストコロナの社会教育のあり方、意義、可能性などを話し合う。
10分	グループ報告・全体意見交換	
40分	【講話】 「ウィズコロナ・ポストコロナの社会教育～“これから”を切り拓くための視点」	講師：木下巨一 氏
	閉会行事	・連絡事項伝達 ・アンケート記入

報告・連絡（3）令和4年度君津地方社会教育推進大会の開催について

第57回君津地方社会教育推進大会開催要項（案）

1. 趣 旨

※趣旨及び大会テーマ 現在調整中

2. 主 催 君津地方社会教育委員連絡協議会

3. 後 援 君津地方4市教育委員会

4. 期 日 令和5年1月29日（日） 午後2時～4時

5. 会 場 富津市富津公民館（ホール）富津市新井 932-34 TEL 0439(87)8381

6. 日 程

13:30～14:00 受 付

14:00～14:30 開会行事

① 開会の言葉

② 主催者あいさつ

③ 表彰状贈呈

④ 来賓祝辞

14:30～15:30 記念講演会

※演題及び講師 現在調整中

15:30～15:40 閉会行事

報告・連絡（４）各種事業の実施結果について

令和４年度 地域のつどい君津地区大会 実施報告書

1 当日について

日 時：令和４年年１０月２日（日）

7時30分スタッフ集合 ～ 16時ごろ全体解散

場 所：根形公民館、袖ヶ浦公園

天候等：快晴

2 参加者について

参加チーム 121チーム 参加者数 389名 (+保護者100名)

市内参加者数※（ ）は前回比（H29）

学校名	チーム数	参加者数
昭和小学校	7 (-13)	22 (-37)
奈良輪小学校	12 (+7)	37 (+23)
長浦小学校	4 (-5)	9 (-20)
蔵波小学校	13 (-2)	38 (-9)
根形小学校	7 (-10)	24 (-26)
平岡&幽谷	3 (-1)	8 (-7)
中川小学校	8 (-3)	30 (-1)
保育園・保育所	2 (+1)	7 (+3)
合 計	56 (-26)	175 (-74)

市外参加者数※（ ）は前回比（H29）

市名	チーム数	参加者数
木更津市	34 (-4)	112 (-13)
君津市	19 (+6)	60 (+17)
富津市	12 (+3)	42 (+13)
合計	65 (+5)	214 (+17)

<参考：過去の参加人数>

年 度	H25	H26	H27	H28	H29※	H30	R1	R2	R3	R4※
チーム数	85	103	97	102	142	89	78	中止	中止	121
参加者数	253	323	308	310	446	282	249			389
	18期			19期			20期			21期

※つどい大会（10月に実施）

3. 当日の参加スタッフ

○相談員

袖ヶ浦市	43人
木更津市	22人
君津市	24人
富津市	27人
合計	116人

○事務局

袖ヶ浦市	9人
木更津市	1人
君津市	1人
富津市	1人
君津地域振興事務所	2人
合計	14人

生涯学習課文化振興班 事業報告

○国史跡山野貝塚について

1 令和4年度山野貝塚発掘調査現地説明会

日 時：令和4年11月19日（土）

9時45分～12時、13時30分～15時の2回実施

場 所：袖ヶ浦市郷土博物館、山野貝塚

参加者：27人

内 容：袖ヶ浦市郷土博物館から山野貝塚までの約1.6kmの道のりに所在する文化財等を説明しながら散策し、山野貝塚において今年度実施している発掘調査の説明を行いました。

なお、令和2年度より山野貝塚ボランティアを発足し、ガイドの練習や除草作業等の維持管理を実施してきましたが、今回初めてボランティアによるガイドを実施しました。

ボランティアは、郷土博物館から山野貝塚へ至るルートに所在する7箇所の文化財等について説明を行い、参加者からの意見は概ね好評でした。



ボランティアによる説明風景（山野貝塚の概要説明）

○文化芸術について

1 学校音楽鑑賞教室

日 時：令和4年11月1日（火）

場 所：根形小学校体育館

参加者：根形小学校275人（参加者内訳）生徒248人 教職員27人

根形中学校131人（参加者内訳）生徒115人 教職員16人

内 容：小中学生に優れた音楽鑑賞の機会を提供することで、情操の涵養を図り、音楽活動への参加意欲を高めるために実施している事業になります。

千葉県交響楽団による演奏や楽器紹介、児童・生徒等の指揮者体験を実施し、参加者からは好評でした。

2 第35回袖ヶ浦美術展

日 時：令和4年11月16日（水）～11月27日（日）

会 場：根形公民館

多目的ホール（絵画・書道）、視聴覚室（工芸）、講義研修室（写真）

出 品 数：合計155点（前回比2）

絵画 53点（顧問作品1点、一般作品19点）（前回比1）

書道 38点（顧問作品1点、一般作品7点）（前回比3）

工芸 37点（一般作品8点）（前回比▲1）

写真 27点（一般作品3点）（前回比▲1）

顧問作品：絵画：中島 敏明 『子猫』

書道：辻元 大雲 『片山由美子の句』

入場者数：2,630名（前回比107名）

（多目的ホール1,075名、視聴覚室783名、講義研修室772名）

そ の 他：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ギャラリートークは中止。



第35回袖ヶ浦美術展（絵画・書道）

第35回市民会館まつり実施報告書

開催日: 令和4年10月29日(土)・30日(日)

会 場: 市民会館

来館者: 3,550人(1日目 1,936人、2日目 1,614人)

【展示の部】

No.	展 示 名	出品数等	備 考
1	主催事業紹介展等	7点	市民会館 7点
		2面	環境管理課(パネル展示) 2面
2	子ども作品展	125点	昭和小学校 56点
			奈良輪小学校 48点
2	子ども作品展	579点	昭和中学校 12点
			袖ヶ浦高校 9点
			福王台保育所 114点
			認定こども園まりん 60点
			大空保育園 85点
			ユーカリ保育園 14点
			スクルドエンジェル保育園神納園 62点
			スクルドエンジェル保育園望海園 76点
			昭和小学校 84点
			奈良輪小学校 84点
3	書道・短歌・俳句展	53点	袖書会 15点
			翠書会 11点
			さわらび短歌会 13点
			袖ヶ浦俳壇 14点
4	ブラジル展	134点	ブラジルの紹介動画、代表的な料理やポルトガル語の紹介掲示、物産品等展示など
5	団体活動展示	3面	子どもるーぷ袖ヶ浦(パネル展示) 2面
			こども館・ファミリーサポートセンター(パネル展示) 1面
6	耐震化PRコーナー	一式	模型等による耐震についての説明
合 計		904点	

【催し物の部】

No.	催し物名	販売・参加者数等実績	備考
1	おまつり広場	1,109個	綿あめ、かき氷 1,109個
		120本	ラムネ 120本
		1,346人	縁日コーナー 800人
			レクリエーション協会軽スポーツ 450人
2,565kg	竹とんぼづくり・販売 30人		
	消防ブース(住宅用火災報知器アンケート) 66人		
	古紙回収 2,040kg		
			ペットボトルキャップ回収 35kg
			使用済小型家電回収 490kg
2	出会いの広場	220本	パックジュース等 220本
3	音楽の広場	422人	認定こども園まりん 69人
			白ゆり保育園 36人
			昭和小学校 48人
			昭和中学校管弦楽部 23人
			袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ 104人
			奈良輪小学校 71人
			袖ヶ浦フォークダンス白ゆり 10人
			ドレミハーモニカクラブ 7人
			メレラナフラスタジオ 33人
			アロハリリーズ 13人
サークルすずらん 8人			
4	中ホール棟	400人	万華鏡づくり講習会 29人
			折り紙講習会 40人
			割れないしゃぼん玉づくり講習会 62人
			将棋対局 15人
			ガウラの古着屋さん 254人
	合計	1,449個(本)	食べ物・飲み物の販売実績
		2,168人	おまつり広場・音楽の広場・中ホール棟等の参加者数実績
		2,565kg	古紙・ペットボトル・使用済小型家電の回収重量実績

第35回市民会館まつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・受付において展示や催し物について聞かれることが多かったので、館内の案内チラシや大ホール発表のプログラムなどの配布ができれば良かったと思います。 ・受付で配布した受付済シールについて、市民会館と根形公民館が同じ赤丸シールだったので、同日に開催する館同士で被らないように情報共有をした方が良かったと思います。 ・保育(おむつ替え、授乳)スペースが2階和室に設けられていましたが、おむつ替えだけでも1階のトイレ付近でできた方が近くて便利だと思います。 ・駐車スペースにポールが立てられていたものの、駐車がされない箇所が見受けられたので、必要最低限の確保にしてほしいです。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と書道の展示パネルの配置が変更となり戸惑いました。事前にその旨連絡をいただき良かったです。 (市民会館) ・前回よりも参加保育園が増えたため、展示スペースを拡大しましたが、どの園の作品も力作ばかりで見応えがありました。親子連れでの来館者も増加すると思うので良かったと思います。
(おまつり広場の部)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食に係る模擬店が少なく残念でした。他館と足並みを揃えても良いと思います。 (市民会館) ・参加団体から事前に必要な長机や椅子の注文を受けていましたが、当日、要望通り配置されておらず、一部の団体に迷惑をかけてしまいました。最終確認を徹底します。
(音楽物の広場の部)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を行う団体等の荷物搬入する車両については、おまつり広場を通ると危険であるため、大ホール裏手の駐車場側から行う事で統一した方が良かったと思います。 ・発表に係るプログラムについて、学校関係とサークル等団体関係で日程を分けてしまうと観覧者数に差が出てしまうため、再考してほしいです。 ・発表と発表の時間の間隔が長く、観覧者がいなくなってしまうため、もう少し時間の間隔を狭めて続けてやれたら良かったと思いました。 ・事前のリハーサルや本番の準備など、とても丁寧に対応していただき感謝しています。本当にありがとうございました。
(中ホール棟の部)	<ul style="list-style-type: none"> (市民会館) ・各種講習会では、子どもから大人まで幅広くたくさんの方々に参加いただき、様々な物を作れて好評でした。 ・ガウラの古着屋さんが大盛況でしたし、子どもを持つ親が公民館を知る良い機会になったと思います。 ・将棋対局について、会場を従来の大ホールホワイエから1階和室に変更をしたため、人の入りが心配されたが、幅広い年齢層の来場があり、子供達にじっくりと教えることができました。

総括(良かった点、改善すべき点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の広場に係る日程及び出演団体の見直しをした方が良かったと思います。今後出演団体が増えた場合に保育園や学校関係、そしてサークル等団体をどこまで出演してもらうのか検討が必要だと思います。 ・関係者(サークル等団体)からのみだけでなく、当日来館された方からもアンケートを取った方が良かったと思います。長浦公民館のアンケートの回答方法を参考にすると良いと思います。 (市民会館) ・当日の会場配置や大ホール発表のプログラムなどの周知が行き届かなかったため、次回は参加団体との調整を早めに行うとともに、ホームページや地区回覧などにより広報を行い、来場される方の利便性を図ります。 (市民会館) 今回の市民会館まつりは、たくさんの方の来場者を迎えつつ、大きな混乱もなくまたけが人等を出すことなく盛況のうちに終えることが出来ました。これもサークル等団体はもとより、地元の園児や児童そして生徒達からのたくさんのお出展と発表のおかげであるとともに、受付にご協力をいただいたサークル等団体の皆様のご協力のお陰であると思っております。 しかし、その一方で3年ぶりの開催という事や初めて試みた事(音楽の広場でのサークル等団体の発表)などにおいて、上記意見のとおり、全体的に準備不足や連絡・調整不足が散見されたため、この課題を次回への反省点として生かしていきたいと思っております。

第34回平川公民館まつり実施報告書

開催日: 令和4年11月12日(土)・13日(日)

会 場: 平川公民館

来館者: 1, 340人(1日目 731人、2日目 609人)

【展示の部】

No.	展 示 名	出品数等	備 考	
1	1階多目的室	75点	トールペイント平川	12点
			短歌	13点
			書道	17点
			和風	10点
			活動紹介	2点
			書道	13点
			折紙	8点
2	2階視聴覚室	262点	吉野田保育所	54点
			中川幼稚園	67点
			中川小学校	48点
			平川中学校	91点
			こども館・ファミリーサポートセンター	2点
3	階段	3面	中富ふれすぽクラブ	1面
			平川公民館(壁・パネル等)	2面
合 計		340点		

【催し物の部】

No.	催し物名	販売・参加者数等実績	備考	
1	おまつり広場	3,350個	JA君津袖ヶ浦女性部(太巻きずし、野菜販売、加工品販売)	150個
			どんどんやきそばつるおか(焼きそば、いか焼き他)	1,600個
			青少年相談員(フランクフルト、綿あめ、焼き鳥他)	1,000個
			袖ヶ浦商工会女性部(スーパーボールすくい、チョコバナナ、糸引きあめ、輪投げ)	300個
			ツバッキー(タピオカドリンク、アイス、丼物、アメリカンドッグ、から揚げ他)	250個
			シルバー人材派遣センター(花ポット)	50個
2	芸能発表会	133人	平川ハワイアンフラサークル	10人
			あじさいカラオケ	4人
			養生功倶楽部	8人
			なかよし歌仲間	4人
			平川中学校吹奏楽部	12人
			袖ヶ浦ジュニアオーケストラ	95人
3	体験会	94人	ヨガ(2日間)	25人
			ポッチャ	29人
			大道芸	17人
			友遊ボール	23人
4	講習会	138人	おもちゃ工房2022秋～遊べるかんたん工作体験～	30人
			よつ葉のクローバーしおりづくり	30人
			DIY講習会	16人
			クリスマス折り紙講習会	40人
			シャボン玉作り	22人
5	おはなし会	15人	平川図書館	
6	囲碁大会	7人	平川囲碁同好会	
7	頭の元気度測定会	92人	袖ヶ浦市高齢者支援課	
8	無料マッサージコーナー	114人	イトー鍼灸整骨院	
9	消防車両展示	41人	袖ヶ浦市消防本部	
10	バンド演奏	157人	NPO法人ひこうき雲	
合計(延べ)		4,141人(個)		

第34回平川公民館まつり反省事項等

実行委員からの意見等（良かった点、改善すべき点、その他意見等）

1 共通事項（受付等）

① 良かった点

- ・受付は来場者からの協力がスムーズでよかった。
- ・トラブルもなく、外の事業も中の事業も最大限によくできたと思う。
- ・全判的に人でも多く、特に子供たちの参加が多かったのはうれしかった。その中でもおまつり広場は盛況でした。
- ・館内放送の的確な案内により読み聞かせ等参加しやすい雰囲気があった。
- ・意欲的な飾りつけが良かった。
- ・中学生の発表の場があり良かった。

② 反省点

- ・受付の際に混乱があったため、スタッフ証などを装着してもらいたい。
- ・受付の記名に時間がかかるため、入場を待たせてしまうのが気になった。
- ・パンフレット（チラシ）に切り取りで、1日目、2日目と受付用紙を付け、あらかじめ記入してもらえば手間が少し省けたと思う。
- ・コロナがなければ受付の必要はないはずなので、来年はどうなるか聞きたい。
- ・今回は久しぶりのイベントで参加者が多かったと予想されるので、来年以降の集客を考える必要がある。
- ・来館者目線での案内誘導や表示の工夫。（座って休憩できるスペースの位置案内、各イベント開始の案内など。）
- ・小中高の学生たちがはしゃぎだすと走り出すので心配になった。
- ・障がい者用の駐車スペースがもう少しほしかった。
- ・平川中学校の駐車場ですが、一方通行の矢印看板がほしかった。

2 展示部門

- ・2年間のblankとサークル数の減少等で観覧の方々が減少した感じがあった。
- ・華やかな華道、茶道の復活を願います。
- ・来館者が話しかけにくい雰囲気をつくってしまっていた。
- ・「写真OK」のPOPを作成しておけばよかった。

3 おまつり広場

- ・焼きそばなど、サークル等ボランティア団体の店が出てほしかった。

4 芸能発表等

- ・参加を促すとたくさんの方が楽しそうに手足を動かしてくれ、喜びを感じた。
- ・バンド演奏はまつりに彩りができてよかった。来年も継続していただきたい。大道芸人なども面白いと思う。
- ・バンド演奏も館内放送してもらいたかった。
- ・控室はゆったりと使えてよかった。

5 講習会関係

- ・DIY講習会は人気でよかった。
- ・次回は凧作り教室を実施したい。
- ・DIY講習会について、予約を入れた時点で予約券を配布しておくとうい。予約した方が現れない場合の対応を考える必要がある。
- ・DIY講習会はできあがり品を見てからのほうが参加してみたい人たちが増えたので、見本は必要と感じた。
- ・各講習会とも、子どもだけでなく、大人にも好評だった。

第35回長浦公民館まつり実施報告書

開催日：令和4年11月12日（土）・13日（日）

会 場：長浦公民館

来館者：2, 775人

（1日目 1, 325人、2日目 1, 450人）

【展示の部】

場 所		展 示 内 容	
1 階	交流ロビー	フォトコンテスト「しあわせな瞬間」	17点
		団体紹介 ファミリーサポートセンター・子ども館	2点
		長浦公民館主催事業展示	6点
	多目的室	絵画サークル悠彩・悠彩2	37点
		絵画サークル心美	8点
		チャイルド・アート・サークル	10点
		押花額絵サークル	61点
		木遊会	55点
		家庭倫理の会袖ヶ浦支部	20点
	2 階	展示ホール	長浦書友会
袖ヶ浦俳壇			14点
研修室1・2		子ども作品展	450点
		久保田保育所	73点
		蔵波台さつき幼稚園	75点
		袖ヶ浦桜ヶ丘幼稚園	50点
		長浦小学校	47点
		蔵波小学校	108点
		長浦中学校	18点
		蔵波中学校	19点
榎の実特別支援学校		60点	
会議室2		パッチワークはぎれクラブ	178点
		家事家計を学ぶ友の会	45点
		合計	930点

【催し物の部】

場 所		催 し 物 名	参加者数等	備 考
屋外	前庭広場	模擬店	3,330人	【12日】 袖子連長浦支部（フランクフルト、スーパーボールすくい、くじ） ガールスカウト87団（日用品バザー） NAGAX（みそ田楽、飲み物、くじ） [13日] 青少年相談員長浦支部（揚げパン） [両日] 序の口、袖ヶ浦ミャンマー友好会（サモサ、焼きそば、カレー） 社会教育推進員、男の畑づくり講座（コーヒー、焼き芋） ゆりの里(寿司類、豚汁、果物販売)
		オープニングゲスト（代宿太鼓保存会）	150人	
		おまつり広場（ヨーヨーつり）	272人	悪天予報のため実施場所変更
1階	多目的ホール	サークル発表会	500人	
		蔵波中音楽部演奏会	130人	
		長浦中吹奏楽部演奏会	150人	
		姉崎高校ダンス部ダンスパフォーマンス		出演中止（コロナ関係）
		一緒にジャンボリミッキーを踊ろう！		出演中止（コロナ関係）
	チビッコ広場	150人		
ロビー	いたずらっ子工作	111人		
	活動紹介動画上映	250人		
	おまつり広場（射的）	358人	悪天予報のため実施場所変更	
2階	和室	赤ちゃんあつまれ！	30人	
	創作室	おまつり広場（型抜き）	224人	悪天予報のため実施場所変更
おかのうえ図書館	3階視聴覚室	ミニコンサート	228人	三曲睦会、おこと楽坊、長浦ジュニアお琴・尺八教室「ひまわり」、長浦マンドリンアンサンブル、コールわかば、袖ヶ浦混声合唱団
合 計			5,883人	

第35回長浦公民館まつり反省事項

実行委員会議での意見等

<p>展 示 部 門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書道展が分かりづらい場所であったこともあり、人が少なく残念だった。途中、案内看板を設置してからは改善したため、次回以降も看板を設置してほしい。 ・2階展示ホール付近で迷っているひとがいたので、ロビーからの階段を上ったところにも案内看板を設置した方がよい。
<p>発 表 部 門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性用更衣室（視聴覚室）に男性出演者が間違えて入ってくることがあったので、貼り紙等で分かりやすくしておいてほしい。 ・ミニコンサート（おかのうえ図書館）について、出演者控室（大会議室）での発声練習を禁止されているが、当日確認したところ、図書館までの音漏れは確認できなかったため、次回以降許可してほしい。 ・サークル発表会で使用した音源について、状態の悪いもの（音割れ等）があった。 ・長浦中学校吹奏楽部の演奏の際にホールの奥が少し空いているにもかかわらず出入口付近に人が密集していた。 ・ロビーでのサークル動画上映は普段みれない活動が見れて良かった。
<p>模 擬 店 部 門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の売り切れが早く、「お昼ご飯を食べたくても食べれない」との声が多かった。 ・ヨーヨー釣り（2日目）が9時開始に間に合わなかったため、準備の段取りの改善が必要。 ・型抜きは人の動線が決まっていなかったためか人が密集していた。 ・射的に長い列ができており、人によっては1時間以上待つ人がいたため対策が必要である。 ・ちびっこ広場について、開始時間を早めた関係で当初の予定より終了時間を早めたと思うが、『もうすぐちびっこ広場終了します』などのアナウンスがあっても良かったと思う。
<p>当 日 の 運 営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付で名前を記入しシールを受け取る場所が混雑したのでもう少し人を増やした方がよいと思います。 ・1日目に多目的ホール入口で転倒した方がいたが、救急箱のガーゼが小さかったので大きいものを用意しておいた方がよい。
<p>総 括</p>	<p>おまつり広場や赤ちゃんあつまれ！など子育て世代をターゲットにした催し物を新たに企画したこともあり、前回（第34回）と比較すると子連れの来場者が多いように感じた。</p> <p>また、長浦公民館登録サークル等活動紹介動画上映では「サークルの活動雰囲気分かって良かった」などの声もあり、動画をきっかけとしてサークルに加入する人もいた。</p> <p>3年振りということもあり、反省点も多かったが、天候にも恵まれ無事に長浦公民館まつりを開催することができた。次年度以降も地域全体が盛り上がるように公民館まつりを企画していきたい。</p>

第36回 根形公民館まつり実施報告書

開催日: 令和4年10月29日(土)、30日(日)

会 場: 根形公民館

来場者数: 1,929人 ※来場者名簿での把握数

(10/29日 1082人 10/30日 847人)

【展示の部】

No.	会 場		展 示 名	出品 点数	内 容 (団 体 名 等)			
1	1 階	ロビー	子ども作品展	90点	花まる絵画教室		16	
					根形保育所	38	根形小学校 (絵画)	36
			2	生け花展	1点	生け花サークル優華会 (ロビー展示大作)		1
4		ファミリーサポートセンター紹介	2点	ファミリーサポートセンター		2		
5	廊下	子ども作品展	57点	根形小学校 (書道・硬筆)	36	根形中学校 (工作、調べる学習)	21	
6		和風展示	8点	袖ヶ浦市和風保存会		8		
8	2 階	視聴覚室	陶芸作品展	253点	陶芸サークル陶	19	陶芸サークル窯	15
					陶芸サークル 彩の会	21	陶芸サークル 土楽	29
					陶芸サークル釉	21	陶芸サークル形	45
					陶芸サークル 垂々土	11	陶芸サークル 陶楽	26
					陶芸サークル椿	16	陶芸教室	32
					陶芸サークル 土喜	18		
9	写真展	15点	写団上総		15			
10	生け花展	8点	生け花サークル優華会		8			
11	書道作品展	25点	根形書友会	7	望陀書友会	18		
12	会議室	子ども絵画教室作品展	32点	子ども絵画教室		32		
13	講義 研修室	成人絵画作品展	68点	成人絵画教室	15	快心	10	
				サークル悠	10	イーゼル	16	
				サークル遊心	8	パレット	9	
合 計				559点	昨年度 611 点		51点減	

【催し物の部】

No.	催し物名	参加者数等	備 考			
1	おまつり広場	5,336人	青少年相談員	27人	販売数	1,645
			子ども会	19人		476
			ふる里学舎	4人		800
			ゆりの里	6人		530
			地区社会福祉協議会	15人		517
			根形直売会	3人		192
			野菜販売	1人		72
			スキー連盟	9人		300
			あすみ堂	2人		120
			陶芸バザー	45人		469
			メディアサイトウ	1人		83
2	公民館入場者	1,218人	29日：595人、30日：575人 公民館受付スタッフ 12名 ニコニコ教室36名		1,218人	
3	出会いの広場	209人	コーヒー、紅茶等（スタッフ含む）		209人	
4	家族でトライ	36人	参加者数（スタッフ含む）		36人	
5	芸能音楽発表会	210人	出演者数（10団体）		210人	
6	油絵体験会	19人	講師：伊藤 景子（成人絵画教室講師）		19人	
7	親子陶芸教室	45人	講師：陶芸サークル陶楽		45人	
8	講習会「凧づくり」	66人	講師：袖ヶ浦市凧保存会		66人	
9	講習会「米粉パン・ピザ作り」	8人	講師：袖ヶ浦市米粉普及推進協議会		8人	
10	テニス教室	73人	講師：NESUPO		73人	
11	講習会「木工・石膏手形」	57人	講師：千葉土建かずさ支部		57人	
12	オープニング（袖ヶ浦高校音楽部）	20人	音楽発表		20人	
13	エンディング（にぎやか座）	7人	和太鼓演奏		7人	
14	音楽発表（根形中学校吹奏楽部）	20人	吹奏楽発表		20人	
15	ボーイスカウト体験	50人	ボーイスカウト（スタッフ含む）		50人	
16	袖ヶ浦市消防本部啓発	6人	消防車展示、広報物資配布		6人	
17	シルバー人材センター	8人	啓発物資配布等		8人	
18	図書室	40人	リサイクル市（スタッフ含む）		40人	
合 計		7,428人	令和元年度 8,063人 635人減			

※昨年度参考 1,432人（昨年度は模擬店なし）

第36回根形公民館まつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様にコロナ禍を踏まえ、館内の出入り口を制限し、入館者には総合受付にて検温等を行った。その際に受付済みであることを確認するため、リストバンドを配布していたが、1日目の時点で在庫数が不足したため、来年度以降も同様の対応をする際は、備品を十分に確保したい。 ・同じくコロナ禍のため、飲食スペースを中庭に設置したが、利用者が少なく、多くの方が野外ステージを利用していた。誘導看板を設置するなど対応したい。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も作品展示は行ったが、今年度は模擬店を目的とする来場者も呼び込めたため、昨年よりも展示会場の入場者が多かったように感じた。 ・展示品を探して歩く人が見られた。入口で会場案内図等は配っているが、わかりやすくなるよう工夫したい。 ・例年よりも時期が早まった関係もあり、中学校からの展示物の一部等が昨年よりも減っていた。
(おまつり広場の催し物の部)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりではあったが、模擬店の設置を再開でき、多くの団体に出店いただくことができた。外にも多くの来場者がいたこともあり、オープニング・エンディングともに大勢の方に見ていただくことができた。 ・玄関ポーチでは模擬店への客と来場者の区別ができず、混雑が起きたり、受付の可否の判断が難しかった。レイアウトを調整するなど入口付近での来場者の誘導方法を改善したい。
催し物の部(講習会他)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、活動を制限している団体も多かったため、発表・講習会等の内容も限られたが、参加者も多くあり団体を知ってもらうきっかけとなった。 ・おまつり広場のみ見て帰ってしまう来場者もあり、外での呼び込みや会場アナウンス等も活用したが、次回はより外に来場者を呼び込める工夫をしたい。 ・調理実習室や2階のベランダ等で行っていた講習会等は会場がわかりづらく、展示物のことも踏まえ、案内表記をわかりやすくしたい。

総括(良かった点、改善すべき点など)
<p>3年ぶりに通常開催とし、展示・催し物以外にも感染防止を徹底したうえで模擬店の設置も行えた。また、天気にも恵まれたため昨年度よりも来場者は多かった。</p> <p>芸能音楽発表会や各団体の展示品等を視に来館する市民も多く、公民館まつりの趣旨である各団体の学習成果の発表機会や地域の交流の場を作ることができた。</p> <p>来年度の改善点としては、会場案内図を掲示し、館内展示等を把握しやすいようにしたい。また、受付への協力を不参加団体等に依頼し、受付係の人数を確保するようにしたい。</p>

第15回平岡公民館文化・スポーツまつり 実施報告書

実施日: 令和4年10月29日(土)、30日(日)

会 場: 平岡公民館

来館者: 1, 287人(1日目 644人、2日目 643人)

【展示の部】

No.	会 場	展示名	出品点数	備 考	
1	1階	正面玄関	ウェルカムアート作品展示	2 切り絵	
2		ロビー	平岡公民館主催講座紹介	8 掲示物	
3			サークル紹介	14 掲示物	
4			名幸ヶ丘の会活動紹介	1 掲示物	
5			いきいきサポート活動紹介	2 掲示物	
6			社会福祉法人 柊の郷上総作品展	29 絵画他	
7			ドラマ撮影紹介	2 出演者色紙他	
8	ロビー	主催講座作品展	21 わくわく女性倶楽部(絵手紙)		
9		凧展	9 伝統工芸保存会		
10	2階	手工芸	107	リメイク工房	58
				古里の仲間たち	49
		絵画	10	絵画同好会彩友	
		書道	5	一般	
		油絵	1		
		切り絵	9		
		薪アート	14		
折り紙	3				
11	研修室	子ども作品展	212	平川保育所	52
				平岡小学校(絵画・工作)	48
				平岡小学校(書写)	48
				平岡小学校幽谷分校(絵画・工作)	7
				平岡小学校幽谷分校(書写)	7
				平岡放課後児童クラブ	50
合 計			449	(令和元年度490点)	

【催し物の部】

No.	開催日	催し物名	販売・参加者数等実績	備 考
1	10/29・30	おまつり広場	販売個数 1,942個	焼きそば 398個
				フランクフルト 700本
				ラムネ 300本
				焼き鳥 456本
				太巻き寿司他 88個
			参加者数 1,202人	ふわふわガウラ 約460人
		射的 311人		
		スーパーボールすくい 299人		
		消防車展示 32人		
		移動交番 約100人		
2		ドリンク販売	312本	コーヒー・お茶他 312本
3		サークル作品販売	89点	洋服等販売(リメイク工房) 89点
4	10/29	オープニングセレモニー	約60人	コンサート(袖ヶ浦交響楽団)
5		ガウラ&ソデリーフォトショット	約80人	着ぐるみとの写真撮影コーナー (社会教育推進員)
6		キッズコーナー	約140人	シャボン玉、紙ヒコーキ
7		芸能・サークル発表会 & 体験会	来場者数 延べ約300人 体験あり 5サークル	カナリアンズ、桂舟会、平岡ハーモニカクラブ、すずらんの会、童謡を歌う会 さくらんぼ、袖ヶ浦鼓蝶会、ひらおかモチーフ、ダンスサークルジョイ
8		おもちゃ病院	来客数 9人 おもちゃ修理 14件	おもちゃの修理ボランティア (おもちゃ病院袖ヶ浦)
9		絵本の読み聞かせ	44人	中央図書館職員
10		切り絵体験	6人	指導者:菅 美穂子 制作物「切り絵の葉のフレーム」
11		手芸体験	30人	指導者:リメイク工房 制作物「ボールサンタクロース」
12		人形劇	33人	人形劇団とんとん 演目「やまんぼとごぞうさん」
13		平岡小学校オンステージ	約100人	平岡小学校 合唱、幽谷分校 一覽者ダンス
14		平川中学校吹奏楽部コンサート	約30人	平川中学校吹奏楽部演奏
15		おもしろ科学実験ショー	50人	井上 勝 「空気砲の実験ショー」
16	子ども工作教室	49人	指導者:住友化学(株) 工作物「浮沈子、スタンドグラス」	
17	古本市	25人	平岡公民館図書室職員	
18	粘土細工体験	7人	指導者:古里の仲間たち 制作物「粘土でつくる壁かけ」	
19	中国語で遊ぼう!	10人	指導者:ニーハオクラブ「中国語講座」	
20	ヨガ体験	8人	指導者:長 美紀	
21	頭の元気度測定会	43人	地域包括支援ひらかわサブセンター職員	
22	10/29・30	キーワードクイズ	340人	館内6箇所を実施、正解者にプレゼントを贈呈
販売個数合計			2,343個	
来場・参加者数合計			2,566人	

【スポーツの部】

No.	開催日	催し物名	参加者数	備 考
1	10/29・30	モルック	49人	
2	10/29	グラウンドゴルフ	45人	
3		友遊ボール体験	29人	
4	10/30	サッカー体験	64人	
5		ポッチャ	40人	
合 計			227人	

来館者数	1287人	内訳 1日目 644人 2日目 643人
------	-------	----------------------

第15回平岡公民館文化・スポーツまつり反省事項

	実行委員会議での意見等
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> 館内外をフル活用して来館した人がどこに行っても楽しめる工夫がしてあった。館内放送も来場者にとって、とてもわかりやすく有難かった。 昨年度の作品展示会でも受付を設けたが、今年の方が圧倒的に来館者数が多く、また、平岡公民館は出入り口が多くあることから、受付をしていないと思われる人が多くいた。 多目的広場の芝生エリアを全て駐車場としたことにより、駐車スペースに余裕があつて良かった。2日目の午後は、最大約9割の駐車となった。
展示の部	<ul style="list-style-type: none"> 建物のスペースの関係で難しいとは思いますが、もう少し展示スペースをいただけるとありがたい。 パネルが重なり、展示していた絵画がよく鑑賞できないところがあった。 凧は2階ロビーに展示したが、展示の場所を検討していただきたい。 ロビー内の展示は、区割等も整理されていて良かった。
催し物の部 (おまつり広場)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度のまつり以降ブランクがあり、少しとまどってしまった。 焼きそばの完売時間が早すぎる。 ふわふわガウラ、射的、ガウラ&ソデリーのフォトショット及びキッズコーナーなど、子ども向けのイベントは賑わっていて良かった。
催し物の部 (講習会その他)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の音響機器が古く、Bluetoothに繋がらなかった。今まで中国語の講座はなかったが、新しいものにチャレンジできたことは良かったと思う。 おもちゃ病院は、他館ではないことなので続けてほしい。 キーワードクイズの景品に不備(LEDライトの電池の液漏れ)があつたので、事前のチェックが必要である。
発表の部	<ul style="list-style-type: none"> リハーサル時に、スタッフと入念な打合せをしたことにより、安心して気持ちよく参加することができた。 発表後の体験のコーナーも、予想以上に参加してくれる人がいて良かった。 プログラム中、芸能・サークル発表会の記載が小さかった。 ハーモニカの演奏時、おしゃべりをしている人がいたので、責任者等を配置した方が良いのではないか。
スポーツの部	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフは平岡小学校グラウンドで行ったが、下が土であることと、広さが足りないと不評であった。 グラウンドゴルフの参加者から、表彰式は小学校で行った方が良かったとの意見があつた。表彰会場で行っていた発表会が終了していなかったため、長く待たされてしまった。 モルック、野球及びサッカー体験など、どのスポーツも参加者が多くて良かった。

総括(良かった点、改善すべき点など)	
<ul style="list-style-type: none"> 展示等に人の流れを作るため、全館を使ったキーワードクイズを実施したことにより、各会場での催し物も参加者を増やすことができて良かった。 今年度は参加型のイベントを増やしたが、芸能・サークル発表会&体験会では、見に来た方が気軽にサークルの活動に参加し、体験することができ、とても楽しかったと好評であった。また、今までなかったサッカー体験も人気があつた。 住友化学(株)及び関係機関等の協力により、新たな催し物を実施することができ、イベントを盛り上げることができた。 サークルや団体等との交流の場とすることができた。 もう少し来場者が増えるよう、事前の広報、広告などによるアピールを行ったらどうか。 受付を担当するスタッフの引継ぎがうまくいかなかった。また、受付済のマークとして輪ゴムにシールを巻いたものを手首につけてもらったが、洋服に隠れてしまい、確認しづらかったので改善が必要。 3年ぶりの開催ということで、職員も含め、まつりの経験がある人が少なかった。だからこそ、準備から片付けまで、しっかりと打合せが必要であったと思うが、実際は不十分であった。 	

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 市民会館



音楽の広場(昭和小学校合唱)



おまつり広場(模擬店)



ガウラの古着屋さん



折り紙講習会

● 平川公民館



おまつり広場



芸能発表会



子ども作品展



DIY講習会

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 長浦公民館



サークル作品展



サークル発表会



子ども作品展



おまつり広場

● 根形公民館



根形小学校



おまつり広場



木工体験



フィナーレ

市民会館・公民館まつりの実施風景

● 平岡公民館



オープニングセレモニー



サークル作品展



芸能・サークル発表会&体験会



平岡小学校オンステージ

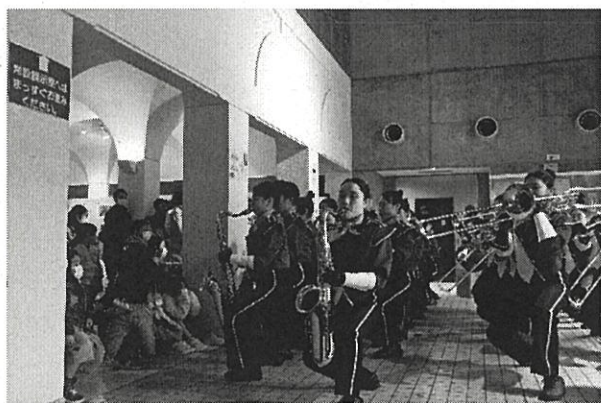


モルック

第25回ミュージアムフェスティバル実施報告

- 1 期日 11月26日(土)～11月27日(日)
- 2 会場 袖ヶ浦市郷土博物館、アクアラインなるほど館、水のふるさと万葉植物園、旧進藤家住宅
- 3 テーマ 「祝そではく40周年！一歩前へ」
新型コロナウイルスの影響により中止またはイベント内容の見直しにより開催することとなったミュージアムフェスティバルを周知するとともに、博物館40周年を祝うことをテーマとした。今回は袖ヶ浦高校、大学生のボランティア協力を受けた。
また、勾玉、たたき染めは時間入れ替え制とし、コースターづくり、土器づくりは事前申し込み制とした。
- 4 催し物
11月26日(土) オープニングセレモニー・ミュージアムコンサート(袖ヶ浦高校吹奏楽部)
11月27日(日) 古代の匠に挑戦(まが玉づくり・貝輪づくり)・たたき染め・ミニ袖凧作り・上総掘り体験・博物館で学ぼう(友の会展示、盆栽展)、まさるさんのシャボン玉ショー、ジャグリング後藤さんのやってみよう！！ージャグリングと皿回し体験ー
- 5 入場者数 1,173人
(参考 R3:238人【体験会】R1:3,749人 H30:4,198人 H29:3,221人 H28:2,211人)

6 イベントの様子



オープニング(11月26日)



土器づくり



シャボン玉



ジャグリングと皿回し

秋のトショロ月間「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」

秋の読書週間（10月27日から11月9日）を含む1か月間にわたって市内の図書館・公民館図書室で開催する「秋のトショロ月間」は、平成26年度より開始した事業です。個人で楽しめる参加型・投稿型の企画を全館で行ったほか、集会事業は予約制にするなど、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じて実施しました。

大人向けには、古典文学や子どもの読書、関心の高い生活課題などテーマの異なる3種類の講座を開催したほか、おすすめの本を紹介する企画や趣向を凝らした映画会など、読書や文化に触れるイベントを実施しました。

子ども向けにも、「本のおみくじ」や「青空かみしばい劇場」など読書に興味をもってもらえるイベントを実施しました。

また、今年は、図書館のイメージキャラクタートショロが誕生してから30年の節目の年であることから、トショロを題材にした催しも行いました。

その他にも市内小中高等学校と連携した作品展示や、図書館で活動するサークルの発表等を行い、市民と図書館をつなげる事業となっています。

10月22日（土）～11月20日（日）参加人数合計 2,432名

1. 参加企画

①【会場】全館・全図書室

日 時	事 業 名	内 容	参加人数
10月22日（土）～ 11月20日（日）	～トショロ30 周年記念イベン ト～いろんな トショロを描 いてみよう！	図書館のイメージキャラクター「トショロ」のイラストを自由に書いてもらい、館内に掲示する。	中央 275人 長浦 192人 平川 22人 根形 15人 平岡 28人 計 532人
10月22日（土）～ 11月20日（日）	秋の読書マラ ソン大会	目標値の30冊を目指し、本を借りてもらう。期間内に借りた冊数に応じて、全体および年代別の順位が確認できる。	

図書館のイメージキャラクター「トショロ」の30周年を記念し、「トショロ」のイラストを自由に書いてもらい、各館に掲示するイベントを実施しました。各館とも楽しそうにイラストを描く子ども達の姿が見受けられ、様々なトショロのイラストがたくさん掲示されました。

秋の読書マラソン大会では、昨年度に引き続き図書館でシステムに目標値を10冊、20冊、30冊と3段階設定し、期間中に借りた資料の冊数で順位がでるイベントを行いました。結果はWebOPAC（インターネット上の蔵書検索システム）やOPAC（図書館内の利用者用蔵書検索端末）のマイページでログインすると確認でき、冊数に準じて金銀銅のメダルが表示されます。目標値と借りた冊数が見えることが、利用者の「図書館資料を借りる」というモチベーションに繋がっているようで、この期間に積極的に本を借りる方も見受けられました。

[会場] 平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

日 時	事 業 名	内 容	参加人数
10月22日(土)～ 11月20日(日)	本のおみくじ	ガチャガチャをまわしておみくじを引き、運勢やおすすめの絵本を占う。	平川 94人 根形 91人 平岡 92人 計 277人

0歳から2歳用と、3歳からの子ども用の2種類のおみくじを実施しました。運勢とそれに関連するおすすめ絵本を表紙画像入りで紹介したカプセルを用意し、入口付近に設置した手製のガチャガチャやくじびきで、来館した子どもに引いてもらいました。

字が読めない子どもからも、おすすめの絵本の表紙画像を見て「この本を借りたい」という反応が得られたほか、「おみくじですすすめられた絵本をすぐに出してもらえてうれしかった」との声が聞かれ、期間中繰り返し来館し参加する姿も見られるなど好評でした。

2. 集会事業

① [会場] 中央図書館

回	日 時	事 業 名	講 師 等	参加者数
1	10月7日(金) 10月14日(金) 10月21日(金) 11月4日(金) 14:30～16:00	文芸講座 「読んで知る『平家物語』の表現の世界」	青山学院大学文学部 日本文学科准教授 滝澤 みか	(4回) 142名
2	10月23日(日) ①13:30～14:00 ②14:15～14:45	中庭イベント 「青空かみしばい劇場」	社会教育推進員	(2回) 41名
3	10月23日(日) ①13:30～14:00 ②14:15～14:45	中庭イベント 「カレンダーを使って封筒づくり～SDGsエコについて考えよう～」	社会教育推進員	(2回) 31名
4	11月1日(火) 10:30～10:50	おひざにだっこのおはなし会	職員	(2回) 20名
5	11月10日(木) 10:00～12:20	映画鑑賞会 “図書館ミュージカルシアター”	社会教育推進員	26名
合 計				(11回) 260名

文芸講座は「読んで知る『平家物語』の表現の世界」をテーマに全4回の連続講座として開催しました。定員を40名として、全4回で延べ142名の参加がありました。丁寧な解説と詳細な資料を基にしたご講義をいただき、アンケートでも大変好評でした。

中庭イベントは社会教育推進員による企画で、紙芝居やパネルシアター、手遊びなどを行う「青空かみしばい劇場」と、使用済みカレンダーを使って封筒を作る「カレンダーを使って封筒づくり～SDGsエコについて考えよう～」を行いました。封筒づくりでは、今年度は封筒づくりを応用した「フォトフレーム」も作成できるようにしました。両イベントとも大人も子どもも楽しめる

イベントとなりました。

「映画鑑賞会“図書館ミュージカルシアター”」は、ミュージカル作品の「アニー」を上映しました。当日は社会教育推進員による前説を行い、参加者からは「良いニュースが無い中、このような楽しいミュージカルを観て、気持ちが上がりました。」などの声があり好評でした。

②【会場】長浦おかのうえ図書館

回	日 時	事 業 名	講 師 等	参加者数
1	10月25日(火) 14:00~15:45	講座「相続財産どこからどこまで?~いざという時にあわてないために、知っておきたい財産のこと~」	千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 田中 信之	56名
2	11月3日(木・祝) 13:30~14:30	大人のためのお話し会	グループサークル むかしむかしの会	48名
3	11月8日(火) 13:30~15:30	子どもの本の講座 「お話のたのしさを子どもたちに」	公益財団法人東京子ども図書館職員 内藤 直子	59名
4	11月19日(土) 13:30~15:30	楽しきかな、朗読。今、再び!	グループサークル 朗読サークル『萌』	32名
合 計				(4回) 195名

講座「相続財産どこからどこまで?~いざという時にあわてないために、知っておきたい財産のこと~」は、千葉県金融広報委員会から金融広報アドバイザーを講師として招き、相続のうち、特に財産関係にテーマを絞って講義を行いました。開催1週間前には満席となり、参加者からは、参考になったという多数の声をいただき、有意義な講座となりました。

むかしむかしの会による「大人のためのお話し会」は、なごやかなムードの中で進行し、今回は学童保育所の子ども達の参加もありました。毎年恒例のイベントとして定着し、大人から子どもまで幅広い層におはなしに関心を持ってもらえる良い機会になりました。

子どもの本の講座は、「お話のたのしさを子どもたちに」をテーマに、講師の豊かな体験を交えて、お話を聞く楽しさやお話選び、語るポイントなどについてお話しいたきました。アンケートでは「お話しのたのしさや奥深さを感じ大変参考になった」との声が多数あり好評でした。

朗読サークル「萌」による「楽しきかな、朗読。今、再び!」は、コロナ禍で3年ぶりの発表会となりましたが、終始落ち着いた雰囲気、参加者は語り手が紡ぎだす物語の世界に浸っていました。サークルの活動を見学したいという申し出もあり、サークル活動の活性化に繋がりました。

③【会場】根形公民館図書室

日 時	事 業 名	講 師 等	参加者数
11月17日(木) 10:00~12:00	すきすき絵本タイム	職員、ボランティア	20名

0歳から6歳の子どもとその保護者を対象に、ふれあい読書コーナーで開催しました。擬音語が好きな子には擬音語の絵本、動物が好きな子には動物の絵本、好みがわからない子には様々な種類の絵本、お母さんからのリクエストの絵本など、ボランティアが1組ずつ好きな絵本の読み聞かせを行い、親子ゆっくり過ごしてもらえました。

④ [会場] 平岡公民館図書室

日 時	事 業 名	講 師 等	参加者数
10月29日(土) 10:00~12:00	大型絵本の読み聞かせ	職員	44名

平岡公民館まつりの際に、図書室で行いました。参加者に好きな大型絵本を選んでもらい、読み聞かせを行いました。0歳~小学生とその保護者など、非常に幅広くたくさんの参加がありました。

3. 展示等

① [会場] 中央図書館

回	日 時	事 業 名	内 容	展示数
1	10月1日(土)~ 10月30日(日)	奈良輪小学校2年生「生き物クイズ」展示	奈良輪小学校2年生が「生き物クイズ」を作成。クラスごとに展示	40点 (40名)
2	10月1日(土)~ 11月29日(火)	図書館登録サークルの作品展示	10月1日(土)~10月19日(水) やまゆり俳句会展示	10点 (10名)
			10月20日(木)~11月9日(水) 宇麻具多短歌会展示	12点 (5名)
			11月10日(木)~11月29日(火) 短歌そでがうら展示	20点 (10名)
3	11月20日(日) 10:00~15:00	おかのうえ人形劇団展示~生まれも育ちも袖ヶ浦の人形劇団です~	人形劇で使用している人形などを展示。人形と一緒に写真を撮ることもできる。	21点 (52名)

図書館登録サークルの作品展示には「やまゆり俳句会」、「宇麻具多短歌会」、「短歌そでがうら」の3サークルが参加しました。どのサークルの作品も素晴らしく、たくさんの利用者が足を止めており、今年度は来館者からアンケート用紙に感想も書いてもらいました。また、展示を見て、サークルの活動を見学したいという申し出もあり、サークル活動の活性化に繋がりました。展示付近には、図書館で所蔵している俳句や短歌の本もあわせて展示し、貸出も増えました。

おかのうえ人形劇団展示は、コロナ禍で活動が困難な中、「ももたろう」や「長靴をはいたねこ」など、これまでの上演で使った自作の人形等を展示しました。人形と撮影もできることから親子での参加者が多かったですが、大人だけでじっくり人形を眺めていく方もあり、様々な形で楽しんでもらえました。

② [会場] 長浦おかのうえ図書館

日 時	事 業 名	内 容	貸出数等
10月22日(土)~ 11月20日(日)	図書館で楽しむ日本の美・世界の美	写真集、画集、民族衣装やドレスの本、世界の風景や建築、花の本など図書館には様々な「美」が隠	173冊展示 うち145冊貸出 (145名)

		れている。そんな「美」を感じる 本たちを展示・貸出	
--	--	------------------------------	--

今回初めてのテーマでしたが、初の試みとして社会教育推進員にも展示する本を一部推薦してもらいました。貸出数は昨年度（139冊）と同程度ありました。立ち止まって本を見ている利用者の姿も多数見られ、ふだん目立たない場所にある本もカウンター前に設置したことで、多くの人の目に触れることができました。

③【会場】平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

日 時	事 業 名	内 容	貸出数
10月22日（土）～ 11月20日（日）	《大人向け》本の おたのしみ袋	テーマごとに関連図書3冊を選 んで紙袋に入れて、中身を見ずに 借りてもらう。	平川 48袋貸出 根形 18袋貸出 平岡 14袋貸出 計 80袋貸出 ＜240冊貸出＞ (80名)

秋のトショロ月間終了時にはすべての袋が貸し出され、特に平川図書館は貸出が多く、好評でした。おたのしみ袋の中の本は貸出館以外に所蔵されている本から選定しているため、ふだん利用している館以外の本が入っているのも毎年楽しみにしているという声もありました。

④【会場】中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館・根形公民館図書室

日 時	事 業 名	内 容	展示数
【募集期間】 9月15日（木）～ 11月20日（日） 【展示期間】 10月22日（土）～ 12月25日（日）	イチオシ本の POPを書こう！	中学生、高校生が作成した「イチオシ本 のPOP」展示	536点 (536名)

中学生・高校生を対象に、おすすめ本のPOPを書いて図書館に提出するとオリジナルトショロポストカードがもらえるというイベントを実施しました。2年目となる今回は、昭和中学校（150点）、長浦中学校（7点）、根形中学校（30点）、平川中学校（13点）、袖ヶ浦高等学校（334点）から多数の参加があり、丁寧な作品が集まり大変華やかな展示になりました。

参加者からは「POPがハガキサイズなので取り組みやすく、やりがいがあった」、「8種類あるトショロポストカードを楽しく選んだ」などの声がありました。中高生の読書や図書館来館の契機を創出し、同世代が読む本を知ることによって読みたい本の幅が広がる有意義なイベントとなりました。

5. 映画会

【会場】中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

会 場	上 映 日	上 映 作 品	参加人数
平川図書館	10月27日（木） 10：00～11：50	秋の名画鑑賞会“映画で考える平和” 「千の風になって」	20名

長浦おかの うえ図書館	10月30日(日) 11:10~11:35	子ども映画会 「さる・るるる ほか2話」	26名
	11月9日(水) 10:00~11:50	秋の名画鑑賞会“映画で考える平和” 「ひまわり」	96名
中央図書館	11月17日(木) 10:00~11:15	秋の名画鑑賞会“映画で考える平和” 「戦艦ポチョムキン」	22名
合 計			(4回) 164名

子ども映画会は、絵本でも人気がある「さる・るるる」ほか2話を上映しました。えほんのひろばと併せて開催した相乗効果もあり、盛況でした。

秋の名画鑑賞会は、『映画で考える平和』と題して、平和について考えるきっかけになるような作品を上映しました。上映時には映画会ボランティアがおすすめする今回のテーマに沿った作品を紹介したチラシを配布し、ボランティアが描いた3作品をイメージしたイラストも好評でした。

6. おはなし会・えほんのひろば・図書館でブックスタート

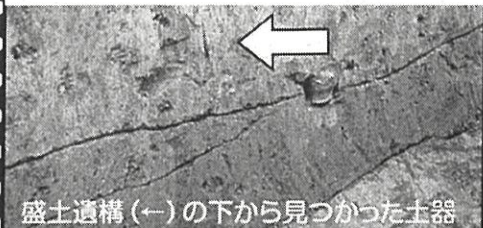
【会場】中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

会 場	期 日	事 業 名	対 象	講 師 等	参加人数
中央図書館	11月5日(土) 14:00~14:30	おはなし会	4歳から 小学6年生	職員、ボラン ティア	11名
	11月15日(火) 10:30~12:00	図書館でブック スタート	市内在住の1 歳未満の子ども と保護者	職員、ボラン ティア	12名
長浦おかの うえ図書館	10月30日(日) 10:30~11:00	えほんのひろば	3歳から小学 6年生	職員、ボラン ティア	13名
	11月20日(日) 14:00~14:30	おはなし会	4歳から 小学6年生	職員、ボラン ティア	6名
平川図書館	11月13日(日) ①14:00~14:30 ②14:45~15:15	おはなし会		職員、ボラン ティア	(2回) 20名
合 計					(6回) 62名

おはなし会は、中央図書館、長浦おかのうえ図書館ともに、お話や絵本に聞き入り楽しむ姿が見られました。平川図書館は平川公民館まつりの中で実施したため、特に多くの参加がありました。いずれのおはなし会も感染症対策に留意しながらも楽しい会となりました。

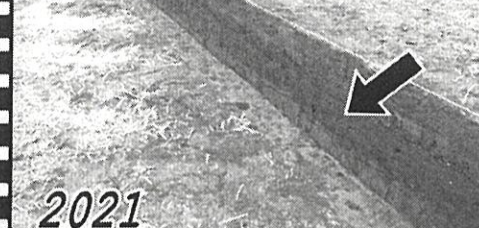
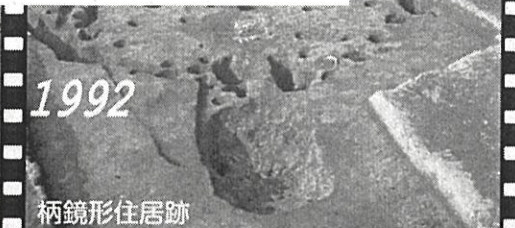
えほんのひろばは、長浦おかのうえ図書館では初めての開催でしたが、和気あいあいとした中で進行し、大変好評でした。

図書館でブックスタートは、ボランティアによる絵本の読み聞かせとブックスタートパックをプレゼントし、ゆったりと楽しいひと時を過ごしてもらえたようでした。



1992

柄鏡形住居跡



2021

令和4年度山野貝塚講演会



山野貝塚とは、何だったのか？

令和4年12月24日(土)

13:30~15:45

開場
12:30

袖ヶ浦市民会館大ホール

袖ヶ浦市坂戸市場1566番地
JR内房線袖ヶ浦駅より徒歩15分

日程

13:30 開会あいさつ

13:35 基調報告1

山野貝塚発掘調査について -令和2・3年度調査の成果-

助川 諒(袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課)

14:05 基調報告2

宮ノ越貝塚発掘調査について -袖ヶ浦市内のもう一つの大型貝塚-

鎌田 望里(袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課)

14:35 休憩

14:45 基調講演

環状盛土遺構・中央窪地とは何か

-房総半島の事例を中心に-

阿部 昭典(千葉大学大学院人文科学研究院 教授)

申込

事前申込制(定員200名) 入場無料

(※新型コロナウイルス感染状況によっては、中止または変更する場合があります。)

袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課 ☎0438-62-3744

令和4年12月22日(木)まで(平日8:30~17:15 電話またはLoGoフォームで受付)

LoGoフォームはこちら



主催 袖ヶ浦市教育委員会

後援 千葉県教育委員会

開催にあたって

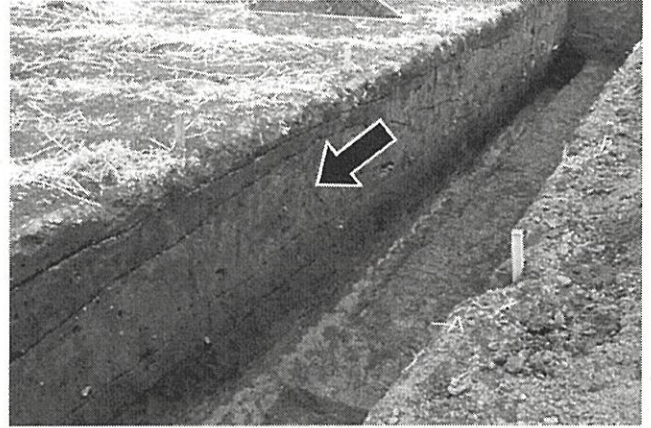
袖ヶ浦市飯富に所在する山野貝塚は、縄文時代の後期～晩期（今から約4,500～2,500年前）に営まれた遺跡です。縄文時代以降は大きな土地の改変を受けていないことなどから、平成29年に国史跡に指定されました。

縄文時代の貝塚は、今から約1,300年前の奈良時代に編さんされた『常陸国風土記』に記録が見られ、近代的な研究は明治10（1877）年にモースが発掘した大森貝塚から始まりました。千葉県内の貝塚は、東京から近く、大型貝塚も数多くあったので、これまでに何度も発掘調査が行われ、日本考古学に貴重な資料を提供してきました。平成時代になって縄文集落跡から盛土遺構が発見されると、山野貝塚をはじめとする県内の貝塚からも盛土遺構と中央窪地が見つかり、貝塚は単なる「大昔のゴミ捨て場」ではなかったと考えられるようになりました。

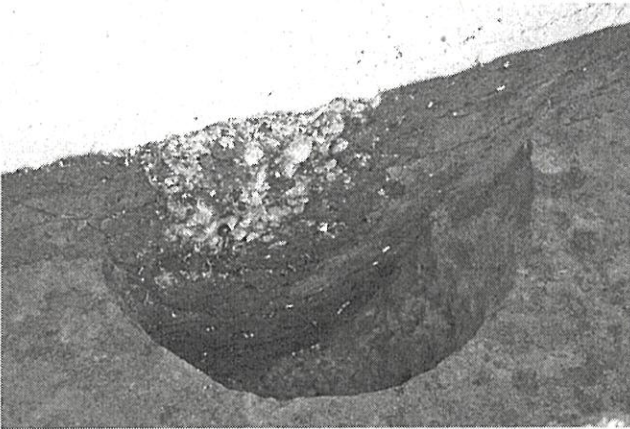
今回の講演会では、山野貝塚と近接する宮ノ越貝塚の発掘調査成果の報告や、盛土遺構・中央窪地の最新研究を踏まえて、山野貝塚とはいったい何であったのか追及したいと思います。



発掘調査風景(昭和48年度調査)



盛土遺構の断面(矢印、昭和48年度調査)

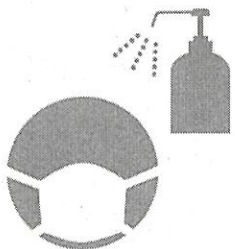


貝殻が捨てられた土坑(令和2年度調査)



山野貝塚から出土した土偶

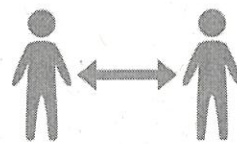
当日はマスクを着用し、手指等の消毒や咳エチケットの徹底にご協力ください。



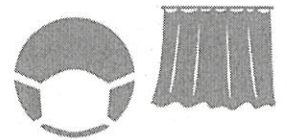
37.5度以上の発熱のある方、体調の悪い方は参加を断らせていただきます。



参加者同士の距離を保ち、密集状態にならないようご協力ください。



会場・スタッフ等は感染症予防対策（マスクやビニールカーテン等）を行わせていただきます。ご不便をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。



○感染が疑われる方が当日参加者から発生した場合、保健所等の調査に協力し、連絡先等の必要な情報提供を行わせていただきます。

○新型コロナウイルス等感染症の拡大状況によって対応が異なる場合があります。

令和5年袖ヶ浦市二十歳を祝う会の取組状況について

令和5年袖ヶ浦市二十歳を祝う会開催要項

- 1 趣 旨 20歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます国民の祝日にあたり、本市の20歳の青年がより豊かな人生を築くための記念行事とする。
- 2 目 標 生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ。
- 3 日 時 令和5年1月8日(日)
午前10時30分から(昭和・蔵波・根形・平川地区)
午後1時30分から(長浦地区)
- 4 主 催 袖ヶ浦市、袖ヶ浦市教育委員会、袖ヶ浦市二十歳を祝う会各地区実行委員会
- 5 対 象
 - (1) 平成14年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれ、市内に住民登録されている者。
 - (2) 平成14年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれ、袖ヶ浦市内小学校または中学校を卒業し、他市町村に住民登録を移している者で出席を希望する者。

6 会 場

昭和地区	市民会館	／	計194名	男105名	女 89名
長浦地区	長浦公民館	／	計103名	男 58名	女 45名
蔵波地区	長浦公民館	／	計162名	男 83名	女 79名
根形地区	根形公民館	／	計 54名	男 30名	女 24名
平川地区	平川公民館	／	計 90名	男 47名	女 43名

(R4.11.1現在 合計603名 男323名 女280名)

7 内 容 記念式典および記念行事

(式次第) 進行

- (1) 開式のことば
 - (2) 国歌斉唱
 - (3) 主催者挨拶(市長、副市長、教育長、企画政策部長)
 - (4) 来賓祝辞(県議会議員、市議会代表)
(来賓紹介、祝電披露)
 - (5) 二十歳代表挨拶
 - (6) 閉式のことば
- (記念行事) 記念撮影他

～新春の風に吹かれて1年の走り初め～
「袖ヶ浦市新春マラソン大会」開催

本大会は、市民の健康・体力の向上と、市のスポーツ活動の活性化を図り、明るく住み良い街づくりに寄与することを目的として実施し、スポーツ協会の組織をあげて運営に取り組み、毎年、小・中学生をはじめ多くのランナーが参加しています。

- 1 主催 袖ヶ浦市スポーツ協会
- 2 後援 袖ヶ浦市教育委員会
- 3 日時 令和5年1月7日（土）小雨決行 ※開会式なし
 受付：各種目スタート時間の1時間前から
- 4 会場 袖ヶ浦市総合運動場 陸上競技場及びその周辺道路
- 5 参加資格 市内在住、在勤、在学の小学生以上の方
- 6 スタート予定時刻・部門（8レースで12部門を実施）

部門	距離	スタート時間
小学1・2年生 男子	1 km	9：00
小学1・2年生 女子	1 km	9：10
小学生3・4年生 男女	2 km	9：20
小学生5・6年生 男女	2 km	9：40
一般男女	10 km	10：00
中学生男子	3 km	10：15
中学生女子	3 km	10：35
一般男女	5 km	11：00

- 7 参加費 小中学生 1人200円
 一般（高校生含む）1人400円（主に保険料）
 ※参加費は当日受付で集めます。



- 8 申込方法 事前申込のみ ※当日申込不可
QRコードまたは電話、FAX、メール
(申込みは12月16日(金)締切り)



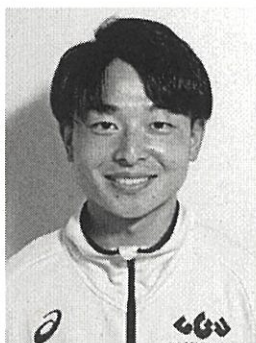
【中学生以下申込】



【一般申込】

- 9 申込先 市社会教育関係団体連絡協議会事務局
所在地 袖ヶ浦市 坂戸市場 1566
TEL0438(62)3139 Fax0438(62)4950
Eメール renkyou@sodegaura.ed.jp

- 10 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策
- ・開会式は行いません。
 - ・受付はスタート時間の1時間前から開始します。
 - ・ゼッケンは回収しません。
- (2) スペシャルゲスト
- ・大学駅伝で活躍している蔵波小・中出身の吉田礼志選手(中央学院大学2年)がスペシャルゲストとして参加します。当日は、小学生の部の先導ランナー及び、一般10キロの部に出場します。



【プロフィール】

- ・蔵波小、蔵波中、拓殖大学紅陵高等学校出身。現在、中央学院大学2年生で駅伝部に所属し活躍している。
- ・2022年1月の箱根駅伝でエース区間の2区で出場。2022年11月の全日本大学駅伝でエース区間の2区で出場し、区間5位

- 11 問合せ先 新春マラソン大会について
袖ヶ浦市社会教育関係団体連絡協議会事務局
電話 0438(62)3139

